

# 近江国信楽代官所旧蔵古文書(2)

— 國學院大学図書館所蔵古文書目録(二) —

大谷 貞夫 編  
千田 豊子

## 解説

信楽代官所旧蔵文書は一点のみで、『國學院大学図書館紀要』第九号に、目録と五点の史料の紹介を行った。そこでの解説で、史料はすべて「御勘定帳」であること、信楽代官多羅尾氏の略系譜と知行地のことについて記したので、ここでは省略したい。

次に本号収載の史料について簡単に解説しておきたい。「六」は宝暦五年(一七五五)十二月の「宝暦四 戌年御勘定目録」で、多羅尾四郎右衛門光豊が作成した「地方勘定帳」である。支配地は近江国内で高三万八千九百二十石余、伊勢国内で高八千三百四十石余で、合計四万七千四百石余であった。この支配地からの年貢米銀・小物成米銀・夫米金銀・口米金銀・御林立枯木払代銀・板橋古木払代銀・往還並木払代銀・末木枝葉払代銀・天領三役などの取立てを明細に記し、渡方として金・銀・米の支出について細かに記している。支出に当っては、勘定奉行所の諸役人の名前を具体的に記し、その許可の証文があることを付記している。右の宝暦四年分の「地方勘定帳」は宝暦五年十二月に勘定所に提出され、翌六年二月に至り勘定組頭・勘定吟味役・勘定奉行が奥印し、多羅尾四郎右衛門に返却している。「地方勘定帳」であるので、更に若年寄の板倉佐渡守勝清(高二万石、陸奥泉藩主)、老中の西尾隠岐守忠尚(高三千五百石、遠江横須賀藩主)、松平右近将監武元(高五万四千石、上野館林藩主)、本多伯耆守正珍(高四万石、駿河田中藩主)、酒井左衛門尉忠寄(高一万四千石、出羽庄内藩主)、堀田相模守正亮(高一万石、下総佐倉藩主)の六名が奥書きしている。

〔七〕は宝暦九年(一七五九)十二月の「宝暦八 寅年御金蔵々請取候金銀御勘定目録」で、多羅尾四郎右衛門光豊が作成し、勘定所

に宛てたものである。この「御金蔵勘定帳」は、宝暦八年に江戸城内の御金蔵から受取った金八六四兩二分余・銀二四五匁余の支払明細帳である。二条御蔵納五里外駄賃・江戸廻米運賃金・茶料并諸色入用・用水以樋御普請入用・往還橋御普請入用・雇小者賃銀旅籠代筆墨紙蠟燭代・大湊波除出来栄見分諸入用・二条御蔵納手代諸入用など詳細に支払の内訳が記載されている。宝暦十年三月付けで、勘定組頭・勘定吟味役・勘定奉行が連署捺印し多羅尾四郎右衛門に返脚したものである。

〔八〕は天明四年(一七八四)二月の「天明二 寅年御金蔵御勘定目録」で、多羅尾四郎右衛門光雄が作成し、勘定所に宛て提出したものである。天明二年に江戸城内の御金蔵から金六二八兩三分余・銀一貫六八五匁余を受取った時の支払明細書である。二条大津御蔵詰五里外駄賃・江戸廻米海上運賃・堤川除御普請入用・茶料并諸色入用・本馬駄賃などに支出された。同四年八月に勘定組頭・勘定吟味役・勘定奉行が連署捺印し、多羅尾四郎右衛門へ返脚したものである。

〔九〕は天明六年(一七八六)七月の「当分上知当分御預所 天明四 辰年御勘定目録」で、多羅尾四郎右衛門光雄が作成し、勘定所に提出したものである。近江国内六か村で高二二〇〇石が上知され、当分預かることを命じられた時、年貢米銀・口米銀・夫銀・茶役銀などの取立て、郷蔵敷地代米・堰料米・山中村掃除町場人足賃米・庄屋年寄給米などの支払を明細に書付けたものである。また文末に「私不納銀高」として銀六五九貫一四八匁余が書上げられている。十一年間の返済計画も明示されているが、なお銀五一三貫三七一匁余が残高であった。同六年九月に勘定組頭・勘定吟味役・勘定奉行らが連署捺印し多羅尾四郎右衛門に返脚している。

〔十〕は文化二年(一八〇五)四月の「享和三 亥年御金蔵御勘定目録」で、多羅尾四郎次郎光崇が作成し、勘定所に提出したものである。享和三年(一八〇三)に江戸城御金蔵から受取った金一四三二兩余・銀四貫二五三匁余、村々からの夫食種粳代・夫食種粳麦農具代・水難拝借などの諸返納の受取勘定である。その支払は五里外駄賃・海上運賃・堤川除用悪水御普請入用・江戸御金蔵納などであった。文化二年十一月に勘定組頭・勘定吟味役・勘定奉行が奥書きし多羅尾四郎次郎に返脚したものである。

〔十一〕は文化十五年(一八一八、文政と改元)五月の「当分上知当分御預所 文化十三 子年御勘定目録」で、多羅尾靱負某が作成し、勘定所に提出したものである。近江国内五か村で高九〇〇石が上知され、当分預りを命じられた時の「御勘定帳」で、年貢米銀・口米石代銀・夫銀・茶役の徴収額と、郷蔵敷地代米・堰料米・山中村掃除丁場人足賃米・庄屋年寄給米・江戸金蔵納などの支出額が記載されている。また「不納銀高」が銀六五九貫一四八匁余あり、同十三年までに銀五二五貫八四三匁余を返納し、残銀一三三貫三〇四匁余であることを記している。文政元年(一八一八)十月に勘定組頭・勘定吟味役・勘定奉行が連署捺印し、多羅尾靱負に返却したものである。

〔十二〕は文政三年（一八二〇）四月の「当分上知当分御預所 文政元 寅年御勘定目録」で、多羅尾靱負某が作成し、勘定所に提出したものである。近江国内五か村で高九〇〇石が上知され支配を命じられた時の「御勘定目録」である。米納・石代銀納・夫銀・茶役などの徴収額、郷蔵敷地代米・堰料米・山中村掃除丁場人足賃米・庄屋年寄給米・江戸御金蔵納など支払額が記載されている。文末に不納銀高があり、残銀一四貫一五九匁余とみえる。同三年十月に至り、勘定組頭・勘定吟味役・勘定奉行が連署捺印し返却している。

〔十三〕は文政四年（一八二二）四月の「当分上知当分御預所 文政二 卯年御勘定目録」で、多羅尾靱負某が作成し勘定所に提出したものである。〔十二〕とはほぼ同様の記載である。

〔十四〕は文政十年（一八二七）七月の「文政四 巳年御金蔵御勘定目録」で、多羅尾靱負某が作成し勘定所へ提出したものである。江戸城内御金蔵から受取った金五二三両三分余・銀一貫八三六匁余、夫食種粉代・夫食種粉麦農具代・取替金・水難拝借・相続并類焼拝借などの諸返納の受取の明細と、年賦返納金・無宿伊三郎入牢中入用・堤川除用悪水堰橋御普請入用・国役御普請金・五里外駄賃・海上運賃・江戸御金蔵納など諸種の支払について記録されている。文政十一年七月に至り、勘定組頭・勘定吟味役・勘定奉行が奥書きし返却したものである。

〔十五〕は天保四年（一八三三）五月の「天保元 寅年御金蔵御勘定帳」で、多羅尾靱負某が作成し勘定所に提出したものである。天保元年に江戸城内の御金蔵から受取った金二三五二両二分余・銀一貫七四匁余、大坂御金蔵から受取った銀二〇匁余、夫食種粉代拝借・本陣家作手当拝借・荒地起返拝借・水難手当拝借など諸種の返納の明細が記され、無宿春吉三次乙五郎在牢中其外入用・堤川除用悪水堰橋御普請入用・五里外駄賃・海上運賃・江戸御金蔵納など種々の支払額が記載されている。天保八年十二月に至り、勘定組頭・勘定吟味役・勘定奉行が連署捺印し、返却したものである。

なお、本史料は平成七・八年度「日本史演習Ⅱ・Ⅲ」（大谷）で利用し、筆写に当たった学生の氏名を文末に記入してある。

〔六〕 宝曆五年十二月 宝曆四戌年御勘定目録（堅帳）

（表紙）

宝曆四

戌年御勘定目録

多羅尾 四郎右衛門

宝曆四戌年御勘定目録

一高三万八千六百九拾貳石五斗六升六合四夕四才 近江国

此取米壹万五千九百七拾九石九升八合

高四ツ壹分貳厘余

内五石五斗六升五合

見取之分厘附除之

米壹万六拾九石六斗四升八合

内

銀三百五貫九百八拾七匁九分四厘八毛

此米五千九百九石四斗五升

此取

銀貳百三貫百七拾七匁七分貳厘四毛 三分一米銀納之分

此米四千貳拾六石三斗五升壹合

但米壹石<sub>ニ付</sub>  
銀五拾匁四分六厘貳毛替

銀七拾貫八百三拾貳匁九分九厘四毛 三分二米銀納之分

此米千貳百七拾七石壹斗四升壹合

但米壹石<sub>ニ付</sub>  
銀五拾五匁四分六厘貳毛替

銀九貫百拾匁壹分五厘壹毛

三分二米地払銀納之分

此米貳百拾貳石八斗五升四合

但米壹石<sub>ニ付</sub>  
銀四拾貳匁八分替

銀貳拾壹貫九拾匁三分九厘六毛

十分一大豆銀納之分

此大豆三百五拾五石五斗四升貳合

但大豆壹石<sub>ニ付</sub>  
銀五拾九匁三分壹厘九毛替

銀壹貫七百七拾六匁六分八厘三毛

十分一大豆地掛銀納之分

此大豆三拾七石五斗六升貳合

但大豆壹石<sub>ニ付</sub>  
銀四拾七匁三分替

右五口書面之通御勘定ニ組仕上可申旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近

江守・疋田庄九郎・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・佐久間郷右衛

門・吉川三郎右衛門・土山藤右衛門証文有之

一高八千三百四拾八石六升八合七夕

伊勢国

此取米貳千八百九拾六石四斗八升五合 高三ツ四分六厘余

内貳石壹斗六升

見取之分厘附除之

米貳千五百貳拾石四斗壹合

内

金四百七兩永六拾壹文九分七毛

此米三百七拾六石八升四合

此取

金百四拾兩永百九拾壹文九分九厘六毛 二分一米金納之分

此米百三拾壹石貳斗八升七合

但 金壹兩<sub>二付</sub>  
米九斗三升六合四夕八才替

金七拾三兩貳分永九拾貳文九分五厘九毛 三分二米金納之分

此米六拾三石七斗九升七合

但 金壹兩<sub>二付</sub>  
米八斗六升六合八夕九才替

金百九拾三兩壹分永貳拾六文九分五厘貳毛 不熟米金納之分

此米百八拾壹石

但 金壹兩<sub>二付</sub>  
米九斗三升六合四夕八才替

右三口書面之通御勘定三組仕上可申旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・疋田庄九郎・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・佐久間郷右衛門・吉川三郎右衛門・土山藤右衛門証文有之

高合四万七千四拾石六斗三升五合壹夕四才

近江  
伊勢 国

此取米壹万八千八百七拾五石五斗八升三合 高四ツ壹厘余

内七石七斗貳升五合

見取之分厘附除之

米壹万貳千五百九拾石四升九合

内金四百七兩永六拾壹文九分七毛

此米三百七拾六石八升四合

銀三百五貫九百八拾七匁九分四厘八毛

此米五千九百九石四斗五升

一米百拾貳石五斗貳升八合貳夕

山年貢 野手山手 海年貢  
小松林年貢 荒物成  
水主役 笠役酒役 勢州小物成米金納

此金百貳拾兩永百六拾文八分壹厘五毛 但 去戌三分一同直段金壹兩<sub>二付</sub>  
米九斗三升六合四夕八才替

一米四拾四石七斗九升貳合貳夕

芝山年貢 新開小物成  
山林役 蕨林年貢  
茶山年貢 山手野手  
小松山年貢 川役入木代  
山年貢 葭小物成 江州小物成米銀納

此銀貳貫貳百六拾匁三分四毛

但 去戌三分一同直段米壹石<sub>二付</sub>  
銀五拾匁四分六厘貳毛替

一米八拾壹石七斗五升

勢州夫米金納

此金八拾七兩壹分永四拾四文九分七厘七毛 但 去戌三分一同直段金壹兩<sub>二付</sub>  
米九斗三升六合四夕八才替

一米拾八石貳斗貳升六合

江州夫米銀納

此銀九百拾九匁七分貳厘

但 去戌三分一同直段米壹石<sub>二付</sub>  
銀五拾匁四分六厘貳毛替

右四口書面之通御勘定三組仕上可申旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・疋田庄九郎・正木与市郎・横山伝右衛門・室田金左衛門・野村庄助・倉橋武右衛門・上遠野源太郎・野田文蔵証文有之

一麥三拾貳石五斗壹升

勢州小物成麥金納

此金拾兩壹分永百六拾九文八分七厘 但 金壹兩<sub>二付</sub>  
荒麥三石壹斗貳升替

右書面之通御勘定三組仕上可申旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・疋田庄九郎・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄太夫・室田金左衛門・野村庄助・倉橋武右衛門・上遠野源太郎・野田文蔵証文有之

一金貳拾七兩壹分永貳百五文五分

山手木ノ口 茶役  
鉄砲運上 竹役  
海運上 勢州小物成金

一銀六百五拾三匁四分 場広山炭薪 水車運上  
本地挽役 柿柏山耕  
山年貢 茶野川役 江州小物成銀

一銀四拾四匁八分六厘 江州夫銀

一米九拾石貳斗七升四夕 勢州口米金納

此金百兩永百三拾壹文三分貳厘  
去戌三分一段米三拾五石三付  
但金三兩高金壹兩二付  
米八斗六升六合八夕九才替

是者、勢州去戌本途御物成米并見取小物成米共合米三千九石壹升三合貳夕  
之分、米壹石三付三升宛取立如斯

一米四百八拾石七斗壹升六合七夕 江州口米銀納

此銀貳拾六貫六百六拾壹匁五分壹厘  
去戌三分一段銀五匁高  
但米壹石三付  
銀五拾五匁四分六厘貳毛替

是者、江州去戌本途御物成米并見取小物成米共、合米壹萬六千貳拾三石八斗  
九升貳夕之分、米壹石三付三升宛取立如斯

一金三分永七拾三文六分七厘 勢州小物成金口永

是者、勢州去戌小物金合貳拾七兩壹分永貳百五文五分之分、金壹兩三付永三  
拾文宛取立如斯

一銀拾九匁六分 江州小物成銀口銀

是者、江州去戌小物成銀合六百五拾三匁四分之分、銀百匁三付銀三匁宛取立  
如斯

右四口書面之通御勘定ニ組仕上可申旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近  
江守・疋田庄九郎・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・室田金左衛門  
証文有之

一銀四拾五匁七分貳厘 御林立枯木御払代

是者、勢州鈴鹿郡石薬師村御林立枯木合貳拾壹本御払ニ被仰付候、平均壹本  
ニ付銀貳匁壹分七厘七毛余宛、書面之通御勘定ニ組仕上可申旨、一色周防守・  
大井伊勢守・大橋近江守・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄  
太夫・室田金左衛門・長谷川甚兵衛・野村庄助・倉橋武右衛門・吉川三郎  
右衛門証文有之

一銀拾五匁貳分九厘 板橋古木御払代

是者、勢州鈴鹿郡石薬師宿庄野宿往還、板橋土橋古木合四拾七本御払ニ被仰  
付候、平均壹本ニ付銀三分貳厘五毛余宛、書面之通御勘定ニ組仕上ケ可申旨、  
曲淵豊後守・一色周防守・大橋近江守・正木与市郎・細井九助・横山伝右  
衛門・岡田庄太夫・野村庄助・倉橋武右衛門証文有之

一銀拾四匁八分 往還並木御払代

是者、江州甲賀郡土山宿蟹河坂村往還並木雪折根返立枯木合三本御払ニ被仰  
付候、平均壹本ニ付、銀四匁九分三厘三毛余宛、書面之通御勘定ニ組仕上可  
申旨、曲淵豊後守・一色周防守・大橋近江守・正木与市郎・細井九助・横  
山伝右衛門・岡田庄太夫・野村庄助・倉橋武右衛門証文有之

一銀貳拾九匁五分九厘 末木枝葉御払代

是者、勢州鈴鹿郡石薬師宿庄野宿往還板橋土橋貳ケ所御普請ニ石薬師村御林  
木伐遣候末木枝葉御払ニ被仰付候、末木合五拾貳本平均壹本ニ付銀三分余宛、  
枝葉合百貳拾七束、平均壹束ニ付銀壹分壹厘宛、書面之通御勘定ニ組仕上可

申旨、曲測豊後守・一色周防守・大橋近江守・正田庄九郎・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄太夫・野村庄助・倉橋武右衛門証文有之

# 一銀三拾貳匁六分

末木枝葉御弘代

是者勢州度会郡小林村山田道板橋御普請同郡野依村御林木伐遣候末木枝葉御弘ニ被仰付候、末木合六本平均老本ニ付銀老匁六分宛、枝葉合百貳拾老束、平均老束ニ付銀老分九厘余ツ、書面之通御勘定ニ組仕上可申旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・正田庄九郎・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄太夫・佐久間郷右衛門・吉川三郎右衛門・土山藤右衛門

証文有之

# 一金拾老匁分永八拾五文七分貳厘

御蔵前入用

是者、去戌年伊勢国高八千三百四拾八石六升八合七夕之内、三千七百拾三石七斗七升九合者、東海道宿々并助郷村々高除之、残高四千六百三拾四石貳斗八升九合七夕之分高百石ニ付、金老分宛取立如斯

# 一銀三貫九百拾五匁九厘

御蔵前入用

是者、去戌年近江国高三万八千六百九拾貳石五斗六升六合四夕四才之内、老万貳千五百九拾老石九斗六升老合八夕三才者東海道・中山道宿々并助郷村々其外諸役免許高除之、残高貳万六千六百六斗四合六夕老才之分、高百石ニ付、銀拾五匁宛取立如斯、尤中山出雲守・萩原近江守・石尾阿波守・水野伯耆守・大久保下野守・遠藤伊勢守・神尾若狹守・松浦河内守・曲測豊後守・萩原源左衛門・辻六郎左衛門・鈴木弥惣右衛門・児嶋孫七郎・伊沢弥

惣兵衛・小出嘉兵衛・小林孫四郎・佐久間郷右衛門・児玉喜兵衛・山崎岡右衛門・室田金左衛門・浅井半左衛門・吉岡四郎右衛門置証文有之

# 一米五石九合

御伝馬宿入用米

是者、去戌年伊勢国高八千三百四拾八石六升八合七夕之分、高百石ニ付米六升宛取立如此

# 一米貳拾三石四升八合

御伝馬宿入用米銀納

此銀老貫百六拾三匁五厘

但去戌三分一直段米老石ニ付、銀五拾匁四分六厘貳毛替

是者、去戌年近江国高三万八千六百九拾貳石五斗六升六合四夕四才之内、貳百八拾老石三斗老升七合八夕者諸役免許高除之、残高三万八千四百拾老石貳斗四升八合六夕四才之分、高百石ニ付米六升宛取立如斯、書面之通御勘定ニ組仕上可申旨、曲測豊後守・一色周防守・大橋近江守・正田庄九郎・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・野村庄助・倉橋武右衛門証文有之、尤免除高置証文右同断

# 一米五拾貳石八升五合

六尺給米

是者、去戌年近江国高三万八千六百九拾貳石五斗六升六合四夕四才之内、老万三千六百拾八石七斗七升四合老夕三才者東海道・中山道宿々并助郷村々其外諸役免許高夫米等相納候村々高除之、残高貳万五千七拾三石七斗九升貳合三夕老才、伊勢国高八千三百四拾八石六升八合七夕之内、七千三百七拾九石三斗老升九夕者東海道宿々并助郷村々高其外水主役米夫米等相納候

村々高除之、残高九百六拾八石七斗五升七合八夕、二口合高貳万六千四拾貳石五斗五升壹才之分、高百石ニ付米貳斗宛取立如斯、尤免除高置証文

右同断

右之寄

米高壹万九千七百八拾四石八合五夕

米壹万貳千六百四拾七石壹斗四升三合 米納

金七百拾八兩貳分永百四拾九文壹厘九毛石代金納

此米六百六拾石六斗三升貳合六夕

銀三百三拾六貫九百九拾貳匁五分三厘貳毛石代銀納

此米六千四百七拾六石貳斗三升貳合九夕

金拾兩壹分永百六拾九文八分七厘 小物成麦金納

此麦三拾貳石五斗壹升

金三拾九兩三分永百拾四文八分九厘

小物成品々  
金銀納

銀四貫七百七拾匁九分五厘

合 金七百六拾八兩三分永百八拾三文七分七厘九毛

銀三百四拾壹貫七百六拾三匁四分八厘貳毛

右渡方

金七百六拾七兩

今井 織部  
久間 佐兵衛  
久佐 次郎  
小佐手 惣十郎  
真野

金壹兩三分永百八拾三文七分七厘九毛

銀三百四拾壹貫四百九拾匁

銀貳百七拾三匁四分八厘貳毛

米千百四拾四石壹斗三升五合

米八千五百三拾石七斗三升貳合七夕

今井 織部  
久間 佐兵衛  
小佐手 久次郎  
今井 織部  
久間 佐兵衛  
小佐手 久次郎  
真野 惣十郎  
今井 織部  
久間 佐兵衛  
久佐 次郎  
小佐手 久次郎  
美濃部 与藤次  
窪田 助左衛門  
中根 九郎兵衛  
中村 新右衛門  
河田 甚太郎  
飯嶋 惣左衛門  
前田 八右衛門  
小貫 彦三郎  
磯谷 新三郎  
佐野 十左衛門  
押田 吉次郎  
藤井 千四郎  
小野 半次郎  
木戸 彦右衛門  
飯室 勝之助



米千七拾貳石

石原 清左衛門

米千貳百拾三石九斗

水野 甲斐守 渡

是者、内米六百石者水野甲斐守御役料米、去戌十月当亥二月五月三度ニ相渡、

米四百九拾石者水主同心七拾人分御切米者人ニ付米七石宛、去戌十月当亥二

月兩度ニ相渡、米百貳拾三石九斗者水主同心七拾人分御扶持方一日者人ニ付

米五合宛、去戌八月朔日々当亥七月晦日迄小ヲ引日数三百五十四日分、去

戌十月当亥二月兩度ニ相渡、何れ茂水野甲斐守請取手形有之候、書面之通相

渡御勘定<sup>(官脱)</sup>弘ニ可相立、堀田相模守殿・酒井左衛門尉殿・本多伯耆守殿・松平

右近將監殿置御証文有之

米八斗

御林守給米

是者、酒井紀伊守・遠藤備前守、多羅尾内匠知行所江州甲賀郡小川村・神山

村御林守給米式人分、者人ニ付米四斗宛去戌一ヶ年分去冬迄度ニ相渡候、

書面之通御勘定弘ニ可相立<sup>(官脱)</sup>旨、駒木根肥後守・箕播摩守・萩原源左衛門・神

谷武右衛門・細田弥三郎・原新六郎・石原半右衛門・小林孫四郎・古郡孫

太夫置証文有之

米貳百八拾五石六斗壹升壹合

宿々定渡米

是者、内米三拾壹石四斗五升貳合者土山宿、米三拾石三斗者水口宿、米三拾

壹石四斗七升七合者石部宿、米四拾三石五斗四升八合者草津宿、米拾八石壹

斗壹升八合者石薬師宿、米拾八石壹斗壹升八合者庄野宿、米貳拾四石壹斗六

升七合者龜山宿、米貳拾壹石壹斗三升九合者関宿、米貳拾八石四斗貳升四合

者坂下宿、米七石者桑名宿、米三拾壹石八斗六升八合者四日市宿、右拾壹ヶ

宿間屋給米并御繼飛脚給米、去戌壹ヶ年分相渡候、書面之通御勘定弘ニ可相

立旨、戸川日向守・中山出雲守・萩原近江守・石尾阿波守・駒木根肥後守・

水野伯耆守・大久保下野守・箕播磨守・杉岡佐渡守・辻六郎左衛門・竹村

惣左衛門・奥野忠兵衛・小出嘉兵衛・木村四郎兵衛・古郡孫太夫置証文四

通有之

米八拾貳石七斗六升三合七夕

湖上運賃米

是者、内米五拾六石九斗五升壹合四夕者江州浅井郡伊香郡高嶋郡村々、去戌

御物成米合四千六百貳拾三石壹斗五合二条御藏納仕候、右車力賃米百貳拾

貳石八斗四升貳合五夕、二口合米四千七百四拾五石九斗四升七合五夕之分、

右村々々南浜浦・大浜浦・片山浦・飯浦・船木浦・横江浜浦・永田浦・深

溝浦・大田浦迄附出、右浦々々大津迄湖上積届候運賃米、但米壹石ニ付賃米

壹升貳合宛前々引付を以相渡、米拾貳石三斗四升七合八夕者、江州蒲生郡・

野洲郡村々、去戌御物成米合貳千四石七斗五合、二條御藏納仕候、右車力

賃米五拾三石貳斗六升七合九夕、二口合米貳千五拾七石九斗七升貳合九夕

之分、右村々々常楽寺浦・八幡浦・江頭浦迄附出、右浦々々大津迄湖上積

届候運賃米、但米壹石ニ付賃米六合宛前々引付を以相渡、米七石三升貳合五

夕者、江州甲賀郡栗太郡村々、去戌御物成米合千九百貳石九斗貳升四合二条

御藏納仕候、右車力賃米五拾石五斗六升三合四夕、二口合米千九百五拾三

石四斗八升七合四夕之分右村々々矢橋浦迄附出右浦々々大津迄湖上積届候運

賃米、但米壹石三付賃米三合六分宛前々引付を以相渡、米六石四斗三升式合

考、江州蒲生郡村々、去戌御物成米合千七拾式石大津御蔵納仕候、右村々々

常楽寺浦・八幡浦迄附出、右浦々々大津迄湖上積届候運賃米、但米壹石二

付賃米六合宛、前々引付を以相渡申候、書面之通御勘定弘三可相立旨、一色

周防守・大井伊勢守・大橋近江守・正田庄九郎・正木与市郎・細井九助・

横山伝右衛門・佐久間郷右衛門・吉川三郎右衛門・土山藤右衛門証文有之

米貳百貳拾六石六斗七升三合七分

車力賃米

此車数貳千四百三拾七輛三分五厘式毛 但車老輛三付米三石五斗積  
賃米九升三合宛

是考、江州村々去戌御物成米合八千五百三拾石七斗三升四合、二條御蔵納仕

候三付、大津々二條御蔵場迄積届候車力賃米、但米三石五斗積車老輛三付賃

米九升三合宛、前々引付を以相渡申候、書面之通御勘定弘三可相立旨、一色

周防守・大井伊勢守・大橋近江守・正田庄九郎・正木与市郎・細井九助・

横山伝右衛門・佐久間郷右衛門・吉川三郎右衛門・土山藤右衛門証文有之

米貳石五斗七升六合壹分

寺社寄附米

是考、江州甲賀郡正福寺村・東寺村・吉永村・柑子袋村、右四ヶ村寺社高五

石式斗六升五合之分、前々其村々々御取箇免合を以、寄附米相扱来候

三付、去戌年分四ツ八分九厘式毛余之免合を以相渡申候、書面之通御勘定弘

三可相立、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・正田庄九郎・正木与市郎・

横山伝右衛門・室田金左衛門・野村庄助・倉橋武右衛門・上遠野源太郎・

野田文蔵証文有之

米六石貳斗五升

普請料米

是考、江州蒲生郡鵜川村・上畑村之儀、当分私領上知三付、私領引付之通井

川浚井堤普請料米去戌年分相渡申候、書面之通御勘定弘三可相立旨、神尾若

狭守・曲淵豊後守・児嶋孫七郎・伊沢弥惣兵衛・早川庄次郎・犬塚權之助

置証文有之

米拾三石四升四合

御普請人足扶持

是考、江州蒲生郡芝原村用水溜池浚御普請、去戌春被仰付人足御扶持米貳拾

四石六斗貳升壹合之内、去々酉御物成置米拾石五斗七升七合相渡、殘拾

三石四升四合去戌御物成米之内を以相渡申候、書面之通御勘定弘三可相立、

一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・正木与市郎・細井九助・横山伝右

衛門・岡田庄太夫・佐久間郷右衛門・依田茂八郎証文有之

米四斗七升七合七分

御普請人足御扶持方

是考、勢州度会郡小林村板橋山田奉行宇治山田江之往来橋、去戌六月大風雨

洪水三而右板橋流失仕候三付、御普請被仰付候人足百九拾九人五分之内、百

三拾五人八分者村高百石三付五拾人村役引之、殘六拾三人七分之分者人二付

御扶持米七合五分宛相渡申候、書面之通御勘定弘三可相立旨、一色周防守・

大井伊勢守・大橋近江守・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄

太夫・佐久間郷右衛門・依田茂八郎証文有之

米壹石四斗貳升壹合貳分

御普請人足御扶持方

是考、勢州度会郡小林村・上条村、去戌六月大風雨洪水三而、宮川通滴水仕

所々堤押切、其上石籠等流失仕候ニ付、御普請被仰付候人足三百六人九分之内、百拾七人四分者村高百石ニ付五拾人村役引之、残百八拾九人五分之分者人ニ付御扶持米七合五夕宛相渡申候、書面之通御勘定払ニ可相立旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄太夫・佐久間郷右衛門・依田茂八郎証文有之

#### 米四斗四升壹合

御普請人足御扶持方

是者、勢州度会郡樫原村堤川除破損ニ付、去戌年御普請被仰付候人足百拾七人六分之内、五拾八人八分者村高百石ニ付五拾人村役引之、残五拾八人八分之分者人ニ付御扶持米七合五夕宛相渡申候、書面之通御勘定払ニ可相立旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄太夫・佐久間郷右衛門・依田茂八郎証文有之

#### 米六升貳合貳夕

御普請人足御扶持方

是者、勢州鈴鹿郡坂下宿東海道往還道、去戌秋大雨洪水之節破損仕候ニ付、御普請被仰付候人足拾六人六分之内、八人三分者高百石ニ付五拾人村役引之、残八人三分之分者人ニ付御扶持米七合五夕宛相渡申候、書面之通御勘定払ニ可相立旨、曲測豊後守・一色周防守・大橋近江守・中山遠江守・正田庄九郎・正木与市郎・細井九助・野村庄助・倉橋武右衛門証文有之

#### 米拾五石七斗四升三合七夕

御普請人足賃米

是者、勢州鈴鹿郡坂下宿東海道往還刳板橋河原谷川通、去戌秋大風雨洪水之節板橋流失仕候ニ付、御普請被仰付候人足九百貳拾六人壹分之分、者人ニ

付賃米壹升七合宛相渡申候、書面之通御勘定払ニ可相立旨、曲測豊後守・一色周防守・大橋近江守・中山遠江守・正田庄九郎・正木与市郎・細井九助・野村庄助・倉橋武右衛門証文有之

#### 米七斗七升

御普請御手当米

是者、江州甲賀郡前野村・野上野村松野尾川通堤川除破損ニ付御普請奉伺候処、御吟味之上御手当米被下候ニ付相渡申候、書面之通御勘定払ニ可相立旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄太夫・佐久間郷右衛門・依田茂八郎証文有之

#### 米壹石三斗壹升貳合五夕

御茶御用ニ付  
出役御扶持方

是者、去戌年勢州川俣谷御煎茶御用被仰付出役御扶持方、内米壹石八升七合五夕者、私儀去戌六月二日江州信樂出立勢州松坂江罷越御用相勤、同六日信樂江罷歸候、勤日数五日分御扶持方、但貳拾九人扶持五割増之積リ、米貳斗貳升五合者右御用ニ付私召連候手代式人御扶持方日数右同断、但手代者人ニ付三人扶持五割増之積リ請取申候、書面之通御勘定払ニ可相立旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄太夫・室田金左衛門・長谷川甚兵衛・野村庄助・倉橋武右衛門・吉川三郎右衛門証文有之

#### 米三斗

御普請出役手代御扶持方

是者、内米貳斗者勢州鈴鹿郡石薬師宿往還板橋御普請中場所附置候手代者人、去戌五月十日江州信樂出立御普請出来仕、同廿九日信樂江罷歸候勤日数廿日

分御扶持方、但手代老人ニ付一日式人扶持宛之積リ、米老斗<sup>者</sup>勢州鈴鹿郡庄野宿往還土橋御普請中場所ニ附置候手代老人、去戌五月十八日江州信楽出立、御普請出来仕同廿七日信楽江罷帰候勤日数十分御扶持方、但手代老人ニ付一日式人扶持宛之積相渡申候、書面之通御勘定<sup>三</sup>可相立旨、曲淵豊後守・一色周防守・大橋近江守・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄太夫・野村庄助・倉橋武右衛門証文有之

## 米老石四斗六升

## 御普請出役手代御扶持方

是<sup>者</sup>、内米式斗<sup>者</sup>江州蒲生郡芝原村・浅井郡三河村、去戌春用水御普請中場所ニ附置候手代老人、去戌四月十四日江州信楽出立、御普請出来仕同五月三日信楽江罷帰候勤日数廿日分、米老斗五升<sup>者</sup>江州甲賀郡正福寺村・栗太郡駒井沢村、去戌春用水御普請中場所ニ附置候手代老人、去戌四月十六日江州信楽出立、御普請出来仕同晦日信楽江罷帰候勤日数十五日分、米老斗式<sup>者</sup>勢州鈴鹿郡庄野村、去戌春惡水吐御手当普請中場所ニ附置候手代老人、去戌四月十七日江州信楽出立、御普請出来仕同廿八日信楽江罷帰<sup>リ</sup>候勤日数十二日分、米老斗五升<sup>者</sup>勢州度会郡檉原村、去戌春堤川除御普請中場所ニ附置手代老人、去戌六月十一日江州信楽出立、御普請出来仕同廿五日信楽江罷帰候勤日数十五日分、米老斗<sup>者</sup>江州甲賀郡前野村・野上野村、去戌春堤川除御手当普請中場所ニ附置候手代老人、去戌六月十二日江州信楽出立、御普請出来仕、同廿一日信楽江罷帰候勤日数十分分、米七升<sup>者</sup>江州甲賀郡岩室村・蒲生郡別所村、去戌春堤川除御手当普請中場所ニ附置候手代老人、去戌六月十二

日江州信楽出立、御普請出来仕同十八日信楽江罷帰候勤日数七日分、米老斗五升<sup>者</sup>勢州度会郡上条村、去戌臨時堤川除御普請中場所ニ附置候手代老人、去戌十月十三日江州信楽出立、御普請出来仕同廿七日信楽江罷帰候勤日数十五日分、米老斗八升<sup>者</sup>勢州度会郡小林村、去戌臨時堤川除御普請・板橋御普請中場所ニ附置候手代老人、去戌十月十三日江州信楽出立、御普請出来仕同晦日信楽江罷帰候勤日数十八日分、米老斗五升<sup>者</sup>勢州度会郡上条村、去戌臨時堤川除御普請・御手当普請中場所ニ附置候手代老人、去戌十一月二日江州信楽出立、御普請出来仕同十六日信楽江罷帰候勤日数十五日分、米老斗九升<sup>者</sup>勢州度会郡小林村、去戌臨時堤川除御普請中場所ニ附置候手代老人、去戌十一月二日江州信楽出立、御普請出来仕同廿日信楽江罷帰候勤日数十九日分、都合勤日数百四拾六日分御扶持方、但手代一日老人ニ付式人扶持宛之積<sup>リ</sup>相渡申候、書面之通御勘定<sup>三</sup>可相立旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・正田庄九郎・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄太夫・佐久間郷右衛門・吉川三郎右衛門・土山藤右衛門証文有之

## 米式石七斗六升七合五夕

## 御藏納手代御扶持方

是<sup>者</sup>、江州去戌御物成米二条御藏納ニ付手代老人、去戌十一月十九日江州信楽出立、京都江罷越御用相勤、同十二月廿八日信楽江罷帰候勤日数三十九日、右御用ニ付手代老人、当亥正月五日江州信楽出立、京都江罷越右御用相済同三月廿八日信楽江罷帰候勤日数八十四日、都合勤日数百二十三日分御扶持方、但手代老人ニ付三人扶持五割増之積相渡申候、書面之通御勘定<sup>三</sup>可相

立旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・疋田庄九郎・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・佐久間郷右衛門・吉川三郎右衛門・土山藤右衛門証文有之

#### 米六斗七升五合

#### 助郷吟味手代御扶持方

是者、江州土山宿助郷同国蒲生郡十禅師村・別所村・猫田村右三ヶ村、困窮ニ付助郷御免願出候ニ付、右吟味被仰付候間私手代式人去々酉九月十日江州信楽出立、右三ヶ村并差村吟味仕同廿四日信楽江罷帰候勤日数十五日分御扶持方、但手代老人ニ付三人扶持五割増之積リ相渡申候、書面之通御勘定弘ニ可相立旨、曲測豊後守・一色周防守・大橋近江守・正木与市郎・細井九助・横山伝右衛門・岡田庄太夫・野村庄助・倉橋武右衛門証文有之

#### 米七斗貳升

#### 助郷吟味手代御扶持方

是者、江州土山宿助郷同国甲賀郡寺庄村困窮ニ付助郷御免願出候ニ付、右吟味被仰付候間私手代式人去戌九月廿四日江州信楽出立、右寺庄村并差村吟味仕同十月十日信楽江罷帰候勤日数十六日分御扶持方、但手代老人ニ付三人扶持五割増之積相渡申候、書面之通御勘定弘ニ可相立旨、曲測豊後守・一色周防守・大橋近江守・疋田庄九郎・正木与市郎・細井九郎・横山伝右衛門・野村庄助・倉橋武右衛門証文有之

#### 米四拾貳石五斗六合

#### 高野山御修復所見分 御用ニ付出役御扶持方

是者、紀州高野山御修復所見分吟味仕御入用積仕立持參出府可仕旨被仰付候ニ付、内米壹石三斗五合者、御朱印為頂戴私儀去戌十月八日江州信楽出立

#### 京都江罷越

御朱印頂戴仕、同十三日信楽江罷帰候、往返逗留共日数六日

分御扶持方、但貳拾九人扶持五割増之積、米三斗壹升五合者、右御用ニ付私召連候手代式人・足輕壹人日数右同断六日分御扶持方、但手代老人ニ付三人扶持五割増、足輕一日老人ニ付老人半扶持之積、米五石五斗壹升者、高野山御修復所為見分、私儀去戌十月廿一日江州信楽出立高野山江罷越見分相濟、同十一月六日高野山出立仕同八日京都江罷越同九日御朱印返上相濟、同十日江州信楽江罷帰候、勤日数十九日分御扶持方、但信楽高野山迄道法式拾七里有之候ニ付貳拾九人扶持一倍之積、米四石貳斗壹升貳合五夕者、右御用ニ付私召連候手代式人・書役老人・足輕貳人・棟梁老人・下大工老人・絵師老人、日数右同断十九日分御扶持方、但手代老人ニ付三人扶持一倍書役老人ニ付貳人扶持一倍之積、足輕・棟梁・下大工・絵師共一日老人ニ付老人半扶持宛之積、右高野山御修復所目論見御用ニ付、手代式人・書役老人・棟梁老人・下大工老人、去戌十一月十一日迄十二月十七日迄小ヲ引勤日数三十六日分御扶持方、但手代老人ニ付三人扶持・書役老人ニ付貳人扶持・棟梁下大工共一日老人ニ付老人半扶持宛之積、米拾四石五斗八升三合三夕者、高野山御修復所見分御用檢見後江罷成候ニ付、御取箇御用其外所々出役手代多差出候ニ付、地方御用向差つとい候間伺之上、雇手代式人仕役所手伝為仕、右見分御用ニ者私抱手代召連候、右雇手代式人去戌十月々当亥二月迄五ヶ月相雇候、但雇手代老人ニ付壹ヶ年ニ御給米五拾俵之積、月割を以相渡候、米壹石七斗四升者高野山御修復所御入用積入札披御用ニ付、私儀当亥二

月七日江州信楽出立大坂江罷越、右入札披仕落札請負人吟味相濟、同十四日信楽江罷帰候日数八日分御扶持方、但式拾九人扶持五割増之積、米六斗七升五合者右入札望之者江仕様帳為写取候ニ付、手代式人当亥正月十五日江州信楽出立大坂江差出、入札望之者江仕様帳為写取、同廿九日信楽江罷帰候勤日数十五日分御扶持方、但手代老人ニ付三人扶持五割増之積、米四斗式升者右入札披之節私召連候手代式人・足輕老人日数右同断八日分御扶持方、但手代老人ニ付三人扶持五割増足輕一日老人ニ付老人半扶持之積、米拾五石六斗六升者、高野山御修復所御入用積持参出府仕候様被仰付候ニ付、私儀当亥四月廿七日江州信楽出立出府仕、右御用相勤同六月廿一日信楽江罷帰候、道中往返江戸逗留共小引日数五十四日分御扶持方、但式拾九人扶持一倍之積、米四石七斗式升五合者、右御用ニ付私召連候手代式人・書役老人・足輕老人日数右同断五十四日分御扶持方、但手代老人ニ付三人扶持一倍、書役老人ニ付式人扶持一倍足輕一日老人ニ付老人半扶持之積、都合米四拾九石壹斗四升五合八夕之処、去戌年置米不足ニ付内米四拾式石五斗六合、去戌置米を以請取残六石六斗三升九合八夕者、当亥御物成米之内を以請取候積、別紙を以奉伺候処、書面之通御勘定弘ニ可相立旨、一色周防守・大井伊勢守・大橋近江守・中山遠江守・正田庄九郎・正木与市郎・細井九助・小野左太夫・室田金左衛門・野村庄助・倉橋武右衛門・上遠野源太郎・野田文蔵証文有之

米壹万貳千六百四拾七石壹斗四升三合

合

千四百四拾四石壹斗三升五合

江戸御蔵納

内 八千五百三拾石七斗三升貳合七夕

二條御蔵納

千七拾式石

大津御蔵納

千九百石貳斗七升五合三夕

諸渡方

金七百六拾八両三分永百八拾三文七分七厘九毛

江戸御金蔵納

銀三百四拾壹貫七百六拾三匁四分八厘貳毛

右者、私御代官所近江伊勢国去戌年御物成金銀米納方渡方御勘定仕上申候、以上

宝曆五年亥十二月

多羅尾 四郎右衛門印

御勘定所

如前書金銀米納札并弘方手形を以、戌年御勘定仕上有之付遂吟味為後日覚令判形遣之候、以上

子二月

上遠野 源 太 郎印

野 田 文 蔵印

土 山 藤 右 衛 門 印

吉 川 三 郎 右 衛 門 印

倉 橋 武 右 衛 門 印

右之通戌年皆濟勘定仕上有之付加奥判者也

佐  
渡<sup>印</sup>

多羅尾 四郎右衛門殿

曲	一	大	大	中	疋	正	細	小	児	犬	山	室	佐	依	野
淵	色	井	橋	山	田	木	井	野	玉	塚	崎	田	久	田	村
豐	周	伊	近	遠	庄	与	九	左	喜	權	岡	金	間	茂	庄
後	防	勢	江	江	九	市	助	大	兵	之	右	左	郷	八	助
守 <sup>印</sup>	守 <sup>印</sup>	守 <sup>印</sup>	守 <sup>印</sup>	守 <sup>印</sup>	郎 <sup>印</sup>	郎 <sup>印</sup>	印 <sup>印</sup>	夫 <sup>印</sup>	衛 <sup>印</sup>	助 <sup>印</sup>	衛 <sup>印</sup>	衛 <sup>印</sup>	右 <sup>印</sup>	郎 <sup>印</sup>	印 <sup>印</sup>

(筆写 石川圭一・陣内智江・篠崎建一郎・千田豊子)

相	左	伯	右	隱
模 <sup>印</sup>	衛 <sup>印</sup>	耆 <sup>印</sup>	近 <sup>印</sup>	岐 <sup>印</sup>

〔七〕 宝曆九年十二月 宝曆八寅年御金藏々請取候金銀御勘定目録(堅帳)

(表紙)

宝曆八

寅年御金藏々請取候金銀御勘定目録

多羅尾 四郎右衛門

宝曆八

寅年御金藏々請取候金銀御勘定目録

一金八百六拾四兩貳分永拾文七分六厘 江戸御金藏々請取

一銀貳百四拾五匁九分七厘

右同断

右渡方

金三拾四兩永六拾三文貳分壹厘

二條御藏納五里外駄賃

此錢百四拾九貫八百七拾五文

但 金壹兩三付  
錢四貫四百文替

此記

錢七拾貫七百五拾八文

是者江州甲賀郡鮎河村・山中村、去寅御年貢米合三百三石貳斗六升二條御藏

納仕候ニ付、右村々々矢橋浦迄、道法拾貳里之内五里者百姓役殘七里之分、但壹里米壹石ニ付駄賃錢三拾貳文宛前々引付を以相渡如斯

錢拾六貫貳百五文

是者、江州甲賀郡野上野村・蟹河坂村・大沢村、去寅御年貢米合九拾七石貳斗三升二條御藏納仕候ニ付、右村々々矢橋浦迄、道法拾里之内五里者百姓役殘五里之分、但壹里米壹石ニ付駄賃錢三拾貳文宛前々引付を以相渡如斯

錢貳拾貫七百貳拾文

是者、江州甲賀郡頓宮村・市場村、去寅御年貢米合百三拾八石壹斗四升二條御藏納仕候ニ付、右村々々矢橋浦迄、道法九里半之内五里者百姓役殘四里半之分、但壹里米壹石ニ付駄賃錢三拾貳文宛前々引付を以相渡如斯

錢三拾八貫貳百四拾五文

是者、江州甲賀郡寺庄村・竜法師村・上野村・下山村、去寅御年貢米合三百八拾貳石四斗七升二條御藏納仕候ニ付、右村々々矢橋浦迄、道法八里之内五里八百百姓役殘三里之分、但壹里米壹石ニ付駄賃錢三拾貳文宛前々引付を以相渡如斯

錢壹貫九百七拾文

是者、江州甲賀郡名坂村去寅御年貢米合貳拾九石五斗九升二條御藏納仕候ニ付、右村々矢橋浦迄、道法七里之内五里者百姓役殘貳里之分、但壹里米壹石ニ付駄賃錢三拾貳文宛前々引付を以相渡如斯

錢壹貫九百六拾九文

是者、江州甲賀郡吉永村、去寅御年貢米合百拾八石貳斗九升二條御藏納仕候



ニ付、右村々矢橋浦迄、道法五里半之内五里者百姓役殘半里之分、但老里米  
老石ニ付、駄賃錢三拾貳文宛前々引付を以相渡如斯

金貳百九拾六兩貳分永百三拾文六分四厘 江戸御廻米運賃金

是者、勢州度會郡・鈴鹿郡・河曲郡・三重郡・桑名郡、濃州石津郡・不破郡  
村々、去寅御年貢御膳粉三拾五石五斗・太餅粉拾四石・米四千八拾四石八  
斗、江戸御廻米粉運賃金相渡如斯

此訳

御膳粉三拾五石五斗

勢州桑名湊積之分

此運賃金貳兩永四拾九文六厘

但 粉百石ニ付  
金五兩三分永貳拾貳文宛

太餅粉拾四石

右同断

此運賃金三分永五拾八文八厘

但 右同直段

米三千四百三拾三石貳斗

右同断

此運賃金貳百四拾七兩貳分永貳百五文三分八厘

但 米百石ニ付  
金七兩永貳百拾五文宛

米六百五拾老石六斗

勢州若松浦積之分

此運賃金四拾六兩永六拾八文老分貳厘

但 米百石ニ付  
金七兩永七拾文宛

金貳兩三分永貳百拾五文六分

江戸御廻米五里外小廻シ運賃

是者勢州度會郡村々、去寅御年貢米合百三拾四石八斗同郡有滝浜々若松浦迄  
小廻シ、海上拾三里之内五里者百姓役殘八里之分、但米老石ニ付永貳拾貳文  
宛前々引付を以相渡如斯

金百七拾五兩壹分永百四拾七文四分老厘

御茶料并諸色御入用

此訳

金百拾八兩壹分永貳百貳拾老文老分七厘

御茶料

此御煎茶拾六貫五百目

金五拾五兩壹分永五拾老文

御茶諸色御入用

是者、右御茶勢州松坂城内江茶師共々相納、夫々江戸江差立候迄之内、諸色

御入用紀伊殿役人別紙帳面ニ委細有之候、但兩替六拾目替

金壹兩貳分永百貳拾五文貳分四厘

御茶御用ニ付出役入用

此錢六貫九百八拾五文

但 金壹兩ニ付  
錢四貫三百文替

是者、勢州川俣谷御茶御用ニ付、内錢五百七拾四文者手代式人、去寅六月廿

二日々同廿七日迄日數六日五泊り六昼分木錢、但手代老人ニ付一泊り三拾五

文一昼拾七文宛、錢貳百七拾四文者小者式人日數右同断五泊り六昼分木錢、

但小者老人ニ付一泊り拾七文一昼八文宛、錢三貫百五拾七文者、御用長持人

足四人賃錢江州信樂々勢州松坂迄道法拾七里往返三拾四里此延道百三拾六

里、但老里老人ニ付貳拾貳文三分宛、錢貳貫九百七拾貳文者本馬式足駄賃、

江州信樂々勢州松坂迄道法拾七里往返三拾四里此延道六拾八里、但老里老

正ニ付四拾貳文宛之積り如斯

金三兩三分永九拾三文三分九厘

用水以樋御普請御入用

是者、濃州石津郡牧田村用水以去ル子九月出水ニ而流失仕候ニ付、御普請被仰  
付右御入用金御金藏々請取相渡如斯

金四拾六兩貳分永百三拾四文四分 往還橋御普請御入用

是者、江州甲賀郡土山宿市場村・勢州三重郡日永村東海道往還板橋・土橋往還道御普請被仰付、右御入用金御金藏々請取相渡如斯

銀貳百四拾五匁九分七厘

往還板橋御普請御入用

是者、勢州鈴鹿郡石薬師宿東海道往還板橋朽損候ニ付、御普請被仰付、右御入用銀御金藏々請取相渡如斯

金九兩永五拾四文七分三厘

勢多橋出来栄見分諸入用

此訳

金五兩永六拾文五分六厘

木錢  
人足賃  
駄賃

此錢貳拾壹貫七百五拾八文

但 金壹兩ニ付  
錢四貫三百文替

是者、江州勢多橋御普請出来栄見分御用ニ付、内錢三貫百七拾四文者手代式人、去々丑十一月朔日迄晦日迄日数三十日二十九泊リ三十昼分木錢、但手代式人ニ付一泊リ三拾五文一昼拾七文宛、錢三貫八百拾七文者足輕老人小者式人雇小者式人日数右同断、二十九泊リ三十昼分木錢、但足輕・小者共一泊リ拾七文一昼八文ツ、錢六貫五百六拾文者御用長持人足四人駕籠人足四人都合八人、江州信楽々京都迄道法拾三里、京都々勢多橋迄道法四里半往返三拾五里此延道貳百八拾里之分賃錢、但老里老人ニ付貳拾貳文五分宛、錢八貫貳百三文者、本馬五疋江州信楽々京都迄道法拾三里、京都々勢多橋迄道法四里半往返三拾五里、此延道百七拾五里之分駄賃、但老里老疋ニ付四拾五文宛之積リ如斯

金三兩三分永貳百四拾四文壹分七厘

雇小者賃銀  
旅宿代  
筆墨紙蠟燭代

此銀貳百三拾九匁六分五厘

但 兩替六拾目替

是者、右御用ニ付内銀九拾匁者雇小者式人、去々丑十一月朔日迄晦日迄日数三十日分賃銀、但雇小者老人ニ付一日老匁五分宛、銀百貳拾九匁者去々丑十一月朔日迄晦日迄老々月分私旅宿代、但老々月銀三枚宛、銀貳拾匁六分五厘者筆墨紙蠟燭代如斯

金五兩壹分永貳百三拾貳文九分九厘

大湊波除堤出来栄見分諸入用

此訳

金四兩永貳百五文四分九厘

木錢  
人足賃  
駄賃

此錢拾八貫五百四文

但 金壹兩ニ付  
錢四貫四百文替

是者、勢州神領大湊町波除堤御普請出来栄見分御用ニ付、内錢六百八拾貳文者手代式人、去々寅七月二日迄同八日迄日数七日六泊リ七昼分木錢、但手代式人ニ付一泊リ三拾五文一昼拾七文宛、錢四百九拾文者、足輕老人小者式人日数右同断六泊リ七昼分木錢、但足輕小者共一泊リ拾七文一昼八文宛、錢四貫九百四拾八文者、御用長持人足四人江州信楽々勢州大湊迄道法貳拾貳里往返四拾四里此延道百七拾六里之分賃錢、但老里老人ニ付貳拾七文宛、錢拾貳貫三百七拾貳文者、本馬五疋江州信楽々勢州大湊迄道法貳拾貳里往返四拾四里此延道貳百貳拾里、但老里老疋ニ付五拾四文宛之積リ如斯

金壹兩壹分永貳拾七文五分  
旅宿代  
筆墨紙蠟燭代

此銀七拾六匁六分五厘  
但 兩替六拾目替

是者、右御用ニ付内銀六拾四匁五分者、去寅七月二日迄同八日迄半月分私旅宿代、但巻ヶ月ニ銀三枚宛、銀拾式匁分五厘者、筆墨紙蠟燭代如斯

金巻両式分永式百式文六分五厘 二條御藏納手代諸入用

此訳

金式分永七拾七文六分五厘

木錢  
駄賃

此錢貳貫五百四拾文

但 金巻兩ニ付  
錢四貫四百文替

是者、江州去寅御年貢米一條御藏納御用ニ付内錢六拾八文者、手代巻人江州信樂々京都迄往返四度四昼分木錢、但手代巻人ニ付一昼拾七文宛、錢三拾式文者小者巻人右同斷、四昼分木錢、但小者巻人ニ付一昼八文宛、錢貳貫四百三拾六文者、本馬巻正江州信樂々京都迄道法拾三里往返四度此延道五拾式里之分駄賃、但巻里巻正ニ付四拾五文宛之積リ如斯

金巻兩永百式拾五文

手代巻人宿代

是者、右御用ニ付手代巻人、去寅十一月十八日迄同十二月廿八日迄巻ヶ月半、当卯正月十二日迄同三月廿五日迄三ヶ月都合四ヶ月半之分宿代、但シ手代巻人ニ付巻ヶ月ニ金巻分宛之積リ如斯

金式百八拾八兩式分永式百三拾五文七分四厘

勢州桑名郡  
濃州石津郡

御普請出役諸入用

此訳

金三拾五兩永百五拾四文分三厘

手代貳拾三人  
書役五人  
足輕五人  
小者貳拾三人  
雇小者貳拾三人  
木錢

此錢百五拾壹貫百六拾文

但 金巻兩ニ付  
錢四貫三百文替

内

錢八拾貳貫五百五拾六文

手代 木錢  
書役

是者、勢州桑名郡・濃州石津郡村々去々丑五月大雨洪水ニ而、木曾川・伊尾川通堤數ヶ所押切候ニ付、御普請被仰付度々手代・書役差出候、内錢五拾五貫貳百三拾三文者、手代書役都合千五百拾五泊り分、錢貳拾七貫三百貳拾三文者右同斷、都合千五百四拾三昼分木錢、但手代書役共巻人ニ付、一泊リ三拾五文一昼拾七文宛之積リ如斯

錢六拾八貫六百四文

足輕  
小者 木錢  
雇小者

是者、右御用ニ付内錢四拾六貫三百九拾貳文者足輕・小者・雇小者都合延日數貳千六百二十泊り分、錢貳拾貳貫貳百八文者右同斷、都合延日數貳千六百六拾五昼分木錢、但足輕・小者共一泊リ拾七文一昼八文宛之積リ如斯

金九拾貳兩三分永百七拾三文四分四厘

人足三拾人  
本馬四拾壹正 賃錢  
輕尻馬五正

此錢三百九拾九貫五百六拾八文

但 金巻兩ニ付  
錢四貫三百文替

内

錢百拾貫八百式拾四文

人足賃

是者、右御用ニ付御用長持人足・賀籠人足都合三拾人、此延道四千八百三拾六里之分賃錢、但巻里巻人ニ付錢貳拾貳文宛之積リ如斯

錢貳百七拾三貫五百七拾六文

本馬駄賃

是者、右御用ニ付都合本馬四拾壹疋、此延道五千九百六拾九里之分駄賃、但  
 老里壹疋ニ付錢四拾四文宛之積リ如斯

錢拾五貫百六拾四文

輕尻馬駄賃

是者、右御用ニ付都合輕尻馬五疋、此延道五百貳拾里之分駄賃、但老里壹疋  
 ニ付錢貳拾八文宛之積リ如斯

金九兩貳分永百七拾五文

私旅宿代

此銀五百八拾匁五分

但 銀壹枚四拾三匁  
 兩替六拾目替

是者、右御用ニ付私度々罷出候旅宿代都合四ヶ月半之分、但老ヶ月銀三枚宛  
 之積リ如斯

金拾壹兩貳分

手代旅宿代

是者、右御用ニ付手代貳拾貳人度々罷出候旅宿代都合四拾六ヶ月分、但手  
 代壹人ニ付老ヶ月ニ金壹分宛之積リ如斯

金三拾貳兩永七拾五文

雇小者賃銀

此銀壹貫九百貳拾四匁五分

但兩替六拾目替

是者、右御用ニ付手代老人ニ雇小者老人宛雇小者貳拾三人分雇延日数千貳百  
 八拾三分賃銀、但一日老人ニ付老匁五分宛之積リ如斯

金拾貳兩三分

絵師雇賃銀

此銀七百六拾五匁

但兩替右同断

是者、右御普請所絵圖并勢州桑名郡村々分見絵圖被仰付候ニ付、絵師雇日数  
 合百五十三日分賃銀、但一日老人ニ付絵具代共五匁宛之積リ如斯

金壹兩壹分

水繩五杓代

是者、右御普請中場所ニ而遣并分見之節遣、但水繩壹杓ニ付金壹分宛之積リ如斯  
 金貳拾五兩三分永九拾壹文五分壹厘 筆墨紙蠟燭代

此銀壹貫五百五拾匁四分九厘

但兩替六拾目替

是者、右御用中諸帳面諸書物書上ケ并留帳下書等ニ遣候筆墨紙蠟燭代如斯

金貳拾四兩三分永貳百三拾三文三分三厘

手代貳拾貳人  
 書役五人

雜用

此銀壹貫四百九拾九匁

但兩替右同断

是者、右御用ニ付差出候手代・書役勤日数千四百九十九日分雜用、但手代・  
 書役共一日老人ニ付老匁宛之積リ如斯

金三拾九兩壹分永八拾三文三分三厘 雇物書五人賃銀

此銀貳貫三百六拾目

但兩替六拾目替

是者、右御用ニ付諸書物急ニ認候様被仰付候ニ付物書雇賃銀、但雇延日数千百  
 八十日分一日老人ニ付老匁宛之積リ如斯

金三兩壹分

御普請金登せ候  
 飛脚賃銀

此銀百九拾五匁

但兩替右同断

是者、右御普請金千五百兩御金藏ニ請取勢州桑名迄為差登候飛脚賃、但金百  
 兩ニ付銀拾三匁宛之積リ如斯

合

金八百六拾四兩貳分永拾文七分六厘  
 銀貳百四拾五匁九分七厘

右渡方金銀御金藏々請取可相渡旨、一色安芸守・細田丹後守・菅沼下野守・小幡山城守・正木与市郎・小野左太夫・青山三右衛門・岡田九郎左衛門・古坂与七郎・天野助次郎・佐久間郷右衛門・野村庄助・倉橋武右衛門・吉川三郎右衛門・野田文藏・川口久三郎・楠伝四郎・大原彦四郎証文有之

右者、私御代官所去寅年御金藏々請取候金銀渡方、手形を以御勘定仕上申候、以上

宝曆九年卯十二月

多羅尾 四郎右衛門印

御勘定所

如前書御金藏々請取候金銀払方、手形を以寅年御勘定仕上有之付、遂吟味為後日覚令判形遣之候、以上

辰三月

評定所御用ニ付無印形

楠 伝 四 郎印  
土 山 甚 十 郎印

二丸御普請御用ニ付無印形

佐久間 忠 兵 衛  
大 原 彦 四 郎

御用ニ付無印形

川 口 久 三 郎印  
野 田 文 藏

二丸御普請御用ニ付無印形

上遠野 源 太 郎

吉 川 三 郎 右 衛 門 印

依 田 十 郎 兵 衛 印

佐久間 郷 右 衛 門 印

山 崎 岡 右 衛 門 印

犬 塚 権 之 助 印

天 野 助 次 郎 印

古 坂 与 七 郎 印

小 野 左 大 夫 印

石 谷 備 後 守 印

小 幡 山 城 守 印

稻 生 下 野 守 印

一 色 安 芸 守 印

多羅尾 四郎右衛門殿

(筆写 西山達也)

## 〔八〕天明四年二月 天明二寅年御金藏御勘定目録(豎帳)

(表紙)

天明二

寅年御金藏御勘定目録

多羅尾 四郎右衛門

寅年御金藏々請取候金銀御勘定目録

金六百貳拾八兩三分永百拾五文八分三毛

銀壹貫六百八拾五匁四分七厘九毛

江戸御金藏々請取

右渡方

銀壹貫四百六拾五匁貳分三厘九毛

此錢百四拾六貫五百貳拾三文

此訳

錢五拾三貫五百三拾五文

是者、近江国甲賀郡式々村二条御藏詰米貳百貳拾九石四斗四升、五里外七

里、壹里壹石三付錢三拾貳文宛相渡如斯

錢拾貳貫七百七拾文

是者、同国同郡三ヶ村二条御藏詰米七拾六石六斗三升五合、五里外五里、

壹里壹石三付錢三拾貳文宛相渡如此

錢拾五貫四百貳拾八文

是者、同国同郡式々村二条御藏詰米百貳石八斗六升壹合、五里外四里半、

壹里壹石三付錢三拾貳文宛相渡如此

錢五百四拾九文

是者、同国同郡壹ヶ村二条御藏詰米四石壹斗三升六匁、五里外四里、壹里

壹石三付錢三拾貳文宛相渡如此

錢拾貫百四拾貳文

是者、同国同郡式々村二条御藏詰米八拾六石九斗四升三合、五里外三里

半、壹里壹石三付錢三拾貳文宛相渡如此

錢貳拾五貫七百四拾四文

是者、同国同郡式々村二条御藏詰米貳百五拾七石四斗六升、五里外三里、

壹里壹石三付錢三拾貳文宛相渡如此

錢四貫八百拾八文

是者、同国同郡壹ヶ村二条御藏詰米五拾貳石五斗六升六合、五里外貳里半

九町、壹里壹石三付錢三拾貳文宛相渡如此

錢拾七貫百五拾五文

是者、同国同郡四ヶ村二条御藏詰米貳百五拾七石三斗六升三合七匁、五里

外式里、壹里壹石三付錢三拾式文宛相渡如斯

錢貳貫四百四拾四文

是者、同国同郡壹ヶ村二条御藏詰米四拾八石九斗壹升壹合、五里外壹里半、壹里壹石三付錢三拾式文宛相渡如斯

錢五百五拾六文

是者、同国同郡壹ヶ村二条御藏詰米八石三斗七升式合壹夕、五里外貳里、壹里壹石三付錢三拾式文宛相渡如斯

錢五百三拾九文

是者、同国同郡壹ヶ村二条御藏詰米三拾式石四斗四升四合式夕、五里外半里、壹里壹石三付錢三拾式文宛相渡如斯

錢壹貫四百三拾三文

是者、同国同郡壹ヶ村大津御藏詰米貳拾壹石五斗九合九夕、五里外貳里、壹里壹石三付錢三拾式文宛相渡如斯

錢壹貫二百八拾六文

是者、同国同郡壹ヶ村大津御藏詰米八拾三石三斗五升五合八夕、五里外半里、壹里壹石三付錢三拾式文宛相渡如斯

金貳百三兩貳分永式拾八文貳分五厘 海上運賃

是者、美濃・伊勢国村々、去々寅御年貢米貳千六百六拾石五斗、伊勢国桑名湊・同国四日市湊・江戸迄海上運賃、百石三付金七兩貳分永百五拾文宛相渡如斯

金拾壹兩永百三拾文四分

是者、勢州桑名郡・三重郡村々堤川除、去々寅春御普請被仰付、御入用書面之通御金藏・請取之相渡如斯

金拾三兩

是者、勢州鈴鹿郡田野村・同国度会郡小林村堤川除、去々寅春御普請御手当被下候三付、書面之通御金藏・請取之相渡如斯

銀貳百貳拾目貳分四厘

是者、江州甲賀郡正福寺村・同国蒲生郡浄土寺村・川守村堤川除、去々寅春御普請御手当被下候三付、書面之通御金藏・請取之相渡如斯

金拾貳兩壹分永式百拾四文三分

是者、勢州桑名郡村々堤川除、去々寅春御普請被仰付、御入用書面之通御金藏・請取之相渡如斯

金八拾六兩三分永式百四拾六文

是者、勢州桑名郡村々悪水以樋、去々寅春伏替御普請被仰付、御入用書面之通御金藏・請取之相渡如斯

金四拾兩壹分永式百四拾三文壹分

是者、勢州桑名郡村々悪水吐以樋、去々寅春伏替御普請被仰付、御入用書面之通御金藏・請取之相渡如斯

金拾五兩三分永百三拾五文五分八厘三毛

是者、濃州石津郡太田新田御料・私領組合以樋、去々寅春御普請被仰付、御

入用書面之通御金藏<sub>5</sub>請取之相渡如斯

金五拾四兩貳分永百貳拾五文六分

是者、加納遠江守領分勢州三重郡東阿倉川村、松平甲斐守領分同国同郡浜一色村立会東海道往還土橋、去々寅春懸替御普請被仰付、御入用書面之通御

金藏<sub>5</sub>請取之相渡如斯

金貳拾八兩永拾三文壹分

是者、勢州鈴鹿郡坂下宿往還堀所埋立、去々寅秋御普請被仰付、御入用書面之通御金藏<sub>5</sub>請取之相渡如斯

金百六拾兩三分永百六拾八文三分八厘 御茶料并諸色御入用

此記

金百拾壹兩三分永八拾貳文八分八厘 御茶料

此御茶拾六貫五百目

御茶壹貫目<sub>二</sub>付  
但金六兩三分永貳拾七文七分五厘

是者、當寅五月御印狀を以被仰付候<sub>二</sub>付、早速紀州殿役人江申遣用意仕

御茶出来之上、私儀當六月勢州松坂江罷越、紀州殿役人立会相改封印

仕、御老中宿次御証文を以江戸御春屋迄當六月相納申候

金四拾九兩永八拾五文五分 御茶諸色御入用

是者、右御茶勢州松坂城内江茶師共々相納、夫々江戸江差立候迄之諸式

御入用相渡如斯

金壹兩永百九文貳分九厘

此記

御茶御用<sub>二</sub>付私儀勢州  
松坂江罷越候諸御入用

永百三拾五文五分八厘

手代式人 木錢  
小者式人

此錢八百五拾貳文

但金壹兩<sub>二</sub>付  
錢六貫三百文替

是者、右御用<sub>二</sub>付手代式人・小者式人木錢

内

五百七拾四文 手代式人日數六日分五泊六昼分  
木錢、但壹人<sub>二</sub>付一泊三拾五文一昼錢拾七文宛

貳百七拾四文 小者式人日數右同断五泊六昼分  
木錢、但壹人<sub>二</sub>付一泊拾七文一昼八文宛

金貳分永壹文四分九厘 人足四人賃錢

此錢三貫百五拾七文

但金壹兩<sub>二</sub>付  
錢六貫三百文替

是者、右御用<sub>二</sub>付勢州松坂江罷越候節、御用長持人足江州信楽<sub>5</sub>松坂江

道法拾七里往返三拾四里、此延道百三拾六里、但壹里壹人<sub>二</sub>付錢貳拾

貳文三分宛相渡如斯

金壹分永貳百貳拾貳文貳分式厘 本馬駄賃

此錢貳貫九百七拾貳文

但金壹兩<sub>二</sub>付  
錢六貫三百文替

是者、右御用<sub>二</sub>付勢州松坂江罷越候節、手代式人本馬式疋駄賃、江州信

楽<sub>5</sub>松坂迄道法拾七里往返三拾四里、此延道六拾八里、但壹里壹人<sub>二</sub>付

付錢四拾貳文宛相渡如斯

金貳分永貳百壹文八分

手代壹人 木錢  
小者壹人  
本馬壹疋駄賃

此錢四貫四百八拾八文

但金壹兩<sub>二</sub>付  
錢六貫四百文替

是者、加納遠江守領分勢州三重郡東阿倉川村、松平甲斐守領分同国同



郡浜一色村立会、東海道往還海蔵川通土橋懸替御普請為仕立、手代老  
人差出候御入用、書面之通御金蔵々請取相渡如斯

内

錢三貫七拾壹文

手代老 人 木錢  
小者老 人

是者、右同斷、内錢貳貫五拾六文者手代老 人・小者老 人、去寅五月廿五  
日江州信樂出立、同八月四日同所帰着迄三拾八泊分一泊手代老 人錢三  
拾五文、小者老 人錢拾七文之積、錢老貫拾五文八日数同斷三拾九匁、  
一昼手代老 人錢拾七文、小者老 人錢八文宛相渡如斯

錢老貫四百拾七文

本馬老 正駄賃

是者、信樂々勢州三重郡浜一色村迄道法拾六里三拾四町、往返延道三  
拾三里三拾貳町之内、支配所分往返六里五町除之、殘貳拾七里貳拾七  
町分駄賃、平均老里老 正 付錢四拾九文余ニ当相渡如斯

右渡方之儀、御勘定弘ニ可相立旨、安藤彈正少弼・桑原伊予守・松本伊豆  
守・赤井越前守・根岸九郎左衛門・倉橋与四郎・久保田十左衛門・辻左源  
次・中野藤十郎・金沢安太郎・土山宗次郎・勝屋彦兵衛・豊田金右衛門・  
各務伝之丞・藤本甚助証文有之、

合 金六百貳拾八兩三分永百拾五文八分三毛  
銀老貫六百八拾五匁四分七厘九毛

右者、私御代官所去々寅年江戸御金蔵々請取候金銀渡方、書面之通御勘定  
仕上申候、以上

天明四辰年二月

御勘定所

如前書金蔵々請取候金銀弘方、手形を以寅年御勘定仕上有之ニ付遂吟味、  
為後日覺令判形遣之候、以上

辰八月

多羅尾 四郎右衛門 印

各務 伝之丞 印

桜井 徳右衛門 印

服部 造酒次郎 印

藤本 甚助 印

評定所御用ニ付無印形

成瀬 藤左衛門

煩

豊田 金右衛門

勝屋 彦兵衛 印

煩

土山 宗次郎

若林 市左衛門 印

金沢 安太郎 印

横屋 幸之進 印

宮河 小十郎 印

飯塚 伊兵衛 印

多羅尾 四郎右衛門殿

（筆写 篠崎建一郎）

桑	松	赤	久	倉	久	中
原	本	井	世	橋	保	野
伊	伊	豊	丹	与	田	藤
予	豆	前	後	四	十	十
守	守	守	守	郎	左	郎
印	印	印	印	印	衛	印
					門	
					印	

〔九〕天明六年七月 当分上知当分御預所天明四辰年御勘定目録 (豎帳)

(表紙)

当分上知当分御預所 天明四 辰年御勘定目録	多羅尾 四郎右衛門
-----------------------------	-----------

辰年御勘定目録

一高千式百石

近江国

此取米貳百貳拾九石九斗六升 高免壹ツ九分余

内米壹石六斗九升六合 見取之分厘附除之

内 米拾七石貳斗壹升五合七夕 米納

米貳百拾貳石七斗四升四合三夕 石代銀納

此銀拾壹貫七百貳拾八匁九分九厘三毛

此取

米百貳拾五石貳斗貳升七合

江州四ヶ村石代銀納

此銀七貫五拾八匁五分四厘五毛

伊賀国上野町上米平均直段  
但 米八斗三付銀四拾五匁九厘三毛  
右石積米壹石三付銀五拾六匁  
三分六厘六毛

米八拾七石五斗壹升七合三夕

同国貳ヶ村石代銀納

此銀四貫六百七拾目四分四厘八毛

右石積直段銀三匁劣  
但 米壹石三付銀五拾三匁三分  
六厘六毛

一米六石八斗四升八合

口米銀納

此銀三百七拾七匁三分三厘六毛

是者、近江国去々辰年本途見取米合貳百貳拾九石九斗六升之内、米壹石六斗

九升六合見取之分前々引付を以口米不掛、殘米貳百貳拾八石貳斗六升四合

江掛候分、但米壹石三付口米三升宛取立如斯

此取

米三石九斗六升貳合

四ヶ村口米石代

此銀貳百貳拾三匁三分貳厘貳毛

伊賀国上野町上米平均直段  
但 米八斗三付銀四拾五匁九厘三毛右石積  
米壹石三付銀五拾六匁三分六厘六毛

米貳石八斗八升六合

貳ヶ村同断

此銀百五拾四匁壹厘四毛

但 右石積直段銀三匁劣  
米壹石三付銀五拾三匁三分六厘六毛

一銀壹貫五百四拾貳匁六分七厘貳毛

夫銀

是者、高千式百石之内三百七拾壹石壹斗六升四合者前々引付を以夫銀不掛、

高五拾七石五斗者庄屋年寄役高之分除之、殘毛付高七百七拾壹石三斗三升六

合江掛候分、但高壹石三付銀貳匁宛取立如斯

一銀拾匁七分五厘

茶役

是者、江州甲賀郡多羅尾村々私領引付を以取立來候

一銀壹貫目

諸人用金之内納込

是者、私江被下置候諸入用銀之内を以、為冥加不納之内江納込仕候積奉伺候  
処、伺之通被仰付去々辰年分上納如斯

右御勘定元二組可仕上旨、松本伊豆守・赤井豊前守・根岸九郎左衛門・倉  
橋与四郎・久保田十左衛門・辻左源次・若林市左衛門・藤本甚助置証文、  
其外松本伊豆守・赤井豊前守・倉橋与四郎・久保田十左衛門・中野藤十  
郎・飯塚伊兵衛・金沢安太郎・土山宗次郎・勝屋彦兵衛・豊田金右衛門・  
各務伝之丞・服部造酒次郎・桜井徳右衛門証文有之

右寄

米貳百三拾六石八斗八合

内

米拾七石貳斗壹升五合七夕

米納

米貳百拾九石五斗九升貳合三夕

石代銀納

此銀拾貳貫百六匁三分貳厘九毛

銀貳貫五百五拾三匁四分貳厘貳毛 小物成并品々銀納

二口合銀拾四貫六百五拾九匁七分五厘壹毛

右渡方

銀拾四貫六百五拾九匁七分五厘壹毛

谷田又四郎  
伊東太次右衛門  
鈴木弥市郎  
諏訪市郎左衛門

米貳斗三合九夕

郷藏敷地代米

是者、江州甲賀郡三ヶ村郷藏敷地代米去々辰年分相渡如斯

米壹石八斗

堰料米

是者、江州甲賀郡四ヶ村堰料米去々辰年分相渡如斯  
米壹石五斗壹升壹合八夕  
山中村掃除町場  
人足賃米

是者、江州甲賀郡六ヶ村掃除町場人足賃米、去々辰年分相渡如斯

米拾三石七斗

庄屋年寄給米

是者、江州六ヶ村庄屋年寄給米、去々辰年分相渡如斯

右渡方之儀御勘定弘三可相立旨、安藤彈正少弼・松本伊豆守・根岸九郎左  
衛門・倉橋与四郎・久保田十左衛門・辻左源次・勝屋彦兵衛・豊田金右衛  
門・各務伝之丞・藤本甚助証文有之

合 米拾七石貳斗壹升五合七夕

諸渡方

銀拾四貫六百五拾九匁七分五厘壹毛

御金藏納

外

銀六百五拾九貫百四拾八匁五分八厘四毛

私不納銀高

内

銀壹貫三百目貳分貳厘五毛

午年上納之分

銀拾七貫四百五拾壹匁分貳厘

未年上納之分

銀拾八貫五拾六匁六分八厘七毛

申年上納之分

銀拾七貫貳拾三匁分壹厘三毛

酉年上納之分

銀拾三貫九百貳拾五匁分八厘七毛

戌年上納之分

銀拾貫七百七拾八匁四厘九毛

亥年上納之分

外四分五厘壹毛

納過拾

銀八貫八百五拾八匁九分五厘貳毛

子年上納之分

銀拾貫九百貳拾目五分七厘五毛

丑年上納之分

銀拾六貫貳百八拾壹匁四分貳厘六毛

外壹匁

納過捨

寅年上納之分

銀拾六貫五百貳拾壹匁八分壹厘八毛

外壹匁貳分

納過捨

卯年上納之分

銀拾四貫六百五拾九匁七分五厘壹毛

外三分

納過捨

辰年上納之分

小以銀百四拾五貫七百七拾七匁三毛

殘銀五百拾三貫三百七拾壹匁五分八厘壹毛

右者、私当分上知当分御預所近江国、去々辰年御物成銀米納方渡方御勘

定仕上申候、以上

天明六年七月

多羅尾 四郎右衛門 ㊦

御勘定所

如前書、銀納札并米払方手形を以、辰年御勘定仕上有之付遂吟味、為後日

覚令判形遣之候、以上

午九月

桜井 徳右衛門 ㊦

田口 五郎左衛門 ㊦

評定所御用ニ付無印形

甲斐庄 武 助

藤本 甚 助 ㊦

御用ニ付無印形

各務 伝之丞

御用ニ付無印形

豊田 金右衛門

勝屋 彦兵衛 ㊦

土山 宗次郎 ㊦

若林 市左衛門 ㊦

金沢 安太郎 ㊦

横屋 幸之進 ㊦

煩

宮河 小十郎

村上 三郎右衛門 ㊦

飯塚 伊兵衛 ㊦

中野 藤十郎 ㊦

久保田 十左衛門 ㊦

久世 丹後守 ㊦

赤井 豊前守 ㊦

松本 伊豆守 ㊦

桑原 伊予守 ㊦

多羅尾 四郎右衛門 ㊦

(筆写 福田千春)

〔十〕文化二年四月 享和三亥年御金藏御勘定目録 (豎帳)

(表紙)

享和三

亥年御金藏勘定目録

多羅尾 四郎次郎

享和三

亥年御金藏御勘定目録

一金千四百三拾壹兩永百拾六文八分

江戸御金藏々請取

銀四貫貳百五拾三匁八分三厘

一 銀貳拾三匁七分六厘六毛

夫食種粉代返納

是者、江州村々夫食種粉代拝借、寛政三亥年多羅尾四郎右衛門入手形高銀七

百拾三匁六毛、引請高六百八拾九匁貳分四厘、寛政三亥々卯迄貳拾九ヶ年

賦、老ヶ年銀貳拾三匁七分六厘六毛、未年者銀貳拾三匁七分九厘貳毛返納之

積、去々亥年分如斯

一金貳拾四兩貳分永百貳拾貳文七分四毛

夫食種粉代返納

是者、江州・勢州・濃州村々夫食種粉代拝借返納殘、寛政三亥年、多羅尾四

郎右衛門一紙新入手形高金千六百拾貳兩三分永百六拾三文九分四厘貳毛、

寛政二戌々卯迄三拾ヶ年賦引請高金七百拾四兩永五拾八文四分貳厘八毛、老

ヶ年金貳拾四兩貳分永百貳拾貳文七分四毛宛、卯年者金貳拾四兩貳分永百貳

拾貳文七分壹厘六毛、但辰年者午酉戌年延之分金拾九兩壹分永百三文八分四

厘四毛、未年者酉・戌年延之分金拾七兩貳分永貳百四拾七文三分九毛、午年

者戌年延之分金六兩貳分永七拾壹文三分貳厘八毛返納之積、去々亥年分如斯

一金壹兩永百九拾九文壹分壹厘壹毛

右同斷

是者、濃州老ヶ村夫食種粉代拝借返納殘、寛政四子年竹腰小伝次御預所役人

一紙入手形高金貳百六拾兩三分永七拾六文九分八厘八毛、寛政二戌々卯迄

三拾ヶ年賦引請高金三拾四兩三分永貳拾四文貳分壹厘三毛、老ヶ年金壹兩永

百九拾九文壹分壹厘壹毛宛、卯年者金壹兩永百九拾九文壹分五毛、但午・酉・

戌水損三付年延之分年賦を送り、辰・巳・午老ヶ年金壹兩永百九拾九文壹分

老厘壹毛宛返納之積、去々亥年分如斯

一金六兩三分永百五拾七文九分七厘五毛

夫食種粉麦代返納

是者、濃州村々夫食種粉麦代拝借返納殘、寛政四子年石原清左衛門一紙新入

手形高金六百貳拾八兩貳分永貳百四文四分八厘四毛、寛政二戌々卯迄三拾

ヶ年賦引請高金百貳拾六兩三分永八拾貳文九分九厘、老ヶ年金六兩三分永百

五拾七文九分七厘五毛宛、卯年者金六兩三分永百五拾七文九分五厘六毛、但

辰年者酉・戌年延之分金六兩三分永百五拾七文九分七厘五毛、巳年者戌年延

之分金壹兩貳分永貳百三拾九文四分五厘九毛返納之積、去々亥年分如斯

## 一金三拾六兩壹分永六拾八文七分四厘壹毛 夫食種粉麦農具代返納

是者、濃州村々夫食種粉麦農具代拝借返納残、寛政三亥年辻六郎左衛門一紙新入手形高金六千三百兩壹分永百八拾貳文壹分五厘三毛、寛政二戌年卯迄三拾ヶ年賦引請高六百五拾五兩三分永百拾壹文貳分三厘貳毛、壹ヶ年金三拾六兩壹分永六拾八文七分四厘壹毛宛、卯年者金三拾六兩壹分永六拾八文六分九厘七毛、但辰年者酉年延之分金三拾兩三分永貳拾壹文六分貳厘壹毛、巳年者戌年延之分金七兩貳分永百七拾壹文五厘八毛返納之積、去々亥年分如斯

## 一金拾壹兩

## 御手当拝借返納

是者、江州・勢州村々潰百姓・新家取立百姓御手当拝借、寛政四子年多羅尾四郎右衛門入手形高金百六拾五兩、子々寅迄三ヶ年延、卯年巳迄拾五ヶ年賦壹ヶ年金拾壹兩宛返納之積、去々亥年分如斯

## 一金拾八兩壹分永貳百拾文

## 夫食代拝借返納

是者、濃州村々夫食代拝借、寛政十午年私入手形高金九拾貳兩壹分永四拾七文九分、未々亥迄五ヶ年賦壹ヶ年金拾八兩壹分永貳百拾文宛、未年者金拾八兩壹分永貳百七文九分、但子年者酉年延之分金拾八兩壹分永貳百拾文、丑年者戌年延之分金七兩永八拾九文返納之積、去々亥年分如斯

## 一金四兩三分永六拾六文四分

## 水難拝借返納

是者、濃州村々水難相統拝借、寛政十午年私入手形高金四拾八兩永百六拾四文、未々辰迄拾ヶ年賦壹ヶ年金四兩三分永六拾六文四分、但巳年者酉年延之分金四兩三分永六拾六文四分、午年者戌年延之分金三兩永百八拾八文八分返

納之積、去々亥年分如斯

## 一金四兩壹分永五拾文

## 小屋懸代拝借返納

是者、濃州村々小屋懸代拝借、寛政十午年私入手形高金貳拾七兩貳分、未々亥迄五ヶ年賦引請高金八兩永百文之内、亥年者金四兩永五拾文、子年者酉年延之分金三兩永百文、丑年者戌年延之分金貳分永貳百文返納之積、去々亥年分如斯

## 一金貳分永百六拾文

## 右同断

是者、濃州村々小屋懸代拝借、寛政十午年私入手形高金三兩壹分永五拾文、未々亥迄五ヶ年賦壹ヶ年金貳分永百六拾文宛、酉・戌年延之分年賦を送り、子・丑壹ヶ年金貳分永百六拾文宛返納之積、去々亥年分如斯

## 一金三分永七拾文

## 右同断

是者、濃州村々小屋懸代拝借、寛政十一未年私入手形高金四兩永百文、申々子迄五ヶ年賦壹ヶ年金三分永七拾文宛、但酉年延之分年賦を送り、丑年返納之積、去々亥年分如斯

## 一金貳分永貳百拾文

## 小屋懸代拝借返納

是者、濃州村々小屋懸代拝借、寛政十一未年私入手形高金三兩貳分永五拾文、申々子迄五ヶ年賦壹ヶ年金貳分永貳百拾文宛、但酉・戌年延之分年賦を送り、丑・寅壹ヶ年金貳分永貳百拾文宛返納之積、去々亥年分如斯

## 一金拾兩貳分永貳百三拾八文

## 夫食代拝借返納

是者、濃州村々夫食代拝借、寛政十一未年私入手形高金五拾三兩貳分永百八

拾七文五分、申<sup>子</sup>迄五<sup>亥</sup>年賦<sup>金</sup>壹<sup>金</sup>拾<sup>兩</sup>貳<sup>分</sup>永<sup>三</sup>拾<sup>八</sup>文宛、未<sup>年</sup>者  
金拾<sup>兩</sup>貳<sup>分</sup>永<sup>三</sup>拾<sup>五</sup>文五分、但丑<sup>年</sup>者酉<sup>年</sup>延<sup>之</sup>分金拾<sup>兩</sup>貳<sup>分</sup>永<sup>三</sup>拾<sup>八</sup>文、寅<sup>年</sup>者戌<sup>年</sup>延<sup>之</sup>分金四<sup>兩</sup>三<sup>分</sup>永<sup>百</sup>七<sup>拾</sup>五<sup>文</sup>三<sup>分</sup>返<sup>納</sup>之積、去<sup>々</sup>亥<sup>年</sup>分  
如斯

# 一金九兩三分永五拾九文七分

## 再夫食代拝借返納

是<sup>者</sup>、濃州村々夫食代拝借、寛政十一未<sup>年</sup>私<sup>入</sup>手形高金四<sup>兩</sup>永<sup>四</sup>拾<sup>八</sup>文  
五分、申<sup>子</sup>迄五<sup>亥</sup>年賦<sup>金</sup>壹<sup>金</sup>九<sup>兩</sup>三<sup>分</sup>永<sup>五</sup>拾<sup>九</sup>文七分宛、但丑<sup>年</sup>者酉<sup>年</sup>  
延<sup>之</sup>分金九<sup>兩</sup>三<sup>分</sup>永<sup>五</sup>拾<sup>九</sup>文七分、寅<sup>年</sup>者戌<sup>年</sup>延<sup>之</sup>分金四<sup>兩</sup>壹<sup>分</sup>永<sup>三</sup>拾<sup>四</sup>拾<sup>文</sup>  
壹<sup>分</sup>文貳<sup>分</sup>六<sup>厘</sup>返<sup>納</sup>之積、去<sup>々</sup>亥<sup>年</sup>分如斯

# 一金四兩壹分永三拾六文

## 火事家作拝借返納

是<sup>者</sup>、東海道土山宿類焼拝借、享和元酉<sup>年</sup>私<sup>入</sup>手形高金三<sup>拾</sup>兩、戌<sup>辰</sup>迄七<sup>年</sup>  
賦<sup>金</sup>壹<sup>金</sup>四<sup>兩</sup>壹<sup>分</sup>永<sup>三</sup>拾<sup>六</sup>文、未<sup>年</sup>者金四<sup>兩</sup>壹<sup>分</sup>永<sup>三</sup>拾<sup>四</sup>文返<sup>納</sup>之積、  
去<sup>々</sup>亥<sup>年</sup>分如斯

# 一金貳兩貳分永百四拾六文

## 右同断

是<sup>者</sup>、右同宿拝借、享和元酉<sup>年</sup>私<sup>入</sup>手形高金拾<sup>八</sup>兩貳<sup>分</sup>永<sup>貳</sup>拾<sup>五</sup>文、戌<sup>辰</sup>迄七<sup>年</sup>  
賦<sup>金</sup>壹<sup>金</sup>貳<sup>兩</sup>貳<sup>分</sup>永<sup>百</sup>四<sup>拾</sup>六文、未<sup>年</sup>者金貳<sup>兩</sup>貳<sup>分</sup>永<sup>百</sup>四<sup>拾</sup>九文  
返<sup>納</sup>之積、去<sup>々</sup>亥<sup>年</sup>分如斯

# 一金拾六兩三分永七拾四文

## 夫食代拝借返納

是<sup>者</sup>、濃州村々夫食代拝借、享和元酉<sup>年</sup>私<sup>入</sup>手形高金八<sup>拾</sup>四<sup>兩</sup>永<sup>百</sup>貳<sup>拾</sup>文、  
戌<sup>辰</sup>迄五<sup>亥</sup>年賦<sup>金</sup>壹<sup>金</sup>拾<sup>六</sup>兩三<sup>分</sup>永<sup>七</sup>拾<sup>四</sup>文宛、但卯<sup>年</sup>者戌<sup>年</sup>延<sup>之</sup>分金

五<sup>兩</sup>壹<sup>分</sup>永<sup>百</sup>八<sup>拾</sup>文返<sup>納</sup>之積、去<sup>々</sup>亥<sup>年</sup>分如斯

# 一金三分永百貳文

## 夫食代拝借返納

是<sup>者</sup>、濃州村々夫食代拝借、享和元酉<sup>年</sup>私<sup>入</sup>手形高金四<sup>兩</sup>壹<sup>分</sup>永<sup>拾</sup>文、戌<sup>辰</sup>  
迄五<sup>亥</sup>年賦<sup>金</sup>壹<sup>金</sup>三<sup>分</sup>永<sup>百</sup>貳<sup>文</sup>宛、但戌<sup>年</sup>延<sup>之</sup>分年賦<sup>金</sup>を送<sup>り</sup>卯<sup>年</sup>返<sup>納</sup>  
之積、去<sup>々</sup>亥<sup>年</sup>分如斯

# 一金拾六兩三分永七拾四文

## 再夫食代拝借返納

是<sup>者</sup>、濃州村々再夫食代拝借、享和元酉<sup>年</sup>私<sup>入</sup>手形高金八<sup>拾</sup>四<sup>兩</sup>永<sup>百</sup>貳<sup>拾</sup>  
文、戌<sup>辰</sup>迄五<sup>亥</sup>年賦<sup>金</sup>壹<sup>金</sup>拾<sup>六</sup>兩三<sup>分</sup>永<sup>七</sup>拾<sup>四</sup>文宛、但卯<sup>年</sup>者戌<sup>年</sup>延<sup>之</sup>  
分金五<sup>兩</sup>壹<sup>分</sup>永<sup>百</sup>八<sup>拾</sup>文返<sup>納</sup>之積、去<sup>々</sup>亥<sup>年</sup>分如斯

# 一金三兩壹分永拾八文七分六厘

## 夫食代拝借返納

是<sup>者</sup>、濃州村々夫食代拝借、享和二戌<sup>年</sup>私<sup>入</sup>手形高金拾<sup>六</sup>兩壹<sup>分</sup>永<sup>九</sup>拾<sup>三</sup>  
文八<sup>分</sup>、亥<sup>辰</sup>迄五<sup>亥</sup>年賦<sup>金</sup>壹<sup>金</sup>三<sup>兩</sup>壹<sup>分</sup>永<sup>拾</sup>八<sup>文</sup>七<sup>分</sup>六<sup>厘</sup>返<sup>納</sup>之積、  
去<sup>々</sup>亥<sup>年</sup>分如斯

# 一金六兩永貳百四拾文

## 右同断

是<sup>者</sup>、勢州村々夫食代拝借、享和二戌<sup>年</sup>私<sup>入</sup>手形高金三<sup>拾</sup>壹<sup>兩</sup>永<sup>貳</sup>百<sup>文</sup>、  
亥<sup>辰</sup>迄五<sup>亥</sup>年賦<sup>金</sup>壹<sup>金</sup>六<sup>兩</sup>永<sup>貳</sup>百<sup>四</sup>拾<sup>文</sup>宛返<sup>納</sup>之積、去<sup>々</sup>亥<sup>年</sup>分如斯

# 一金四兩三分永百八拾文

## 小屋懸代拝借返納

是<sup>者</sup>、濃州村々小屋懸代拝借、享和二戌<sup>年</sup>私<sup>入</sup>手形高金貳<sup>拾</sup>四<sup>兩</sup>貳<sup>分</sup>永<sup>百</sup>五<sup>拾</sup>文、  
亥<sup>辰</sup>迄五<sup>亥</sup>年賦<sup>金</sup>壹<sup>金</sup>四<sup>兩</sup>三<sup>分</sup>永<sup>百</sup>八<sup>拾</sup>文宛返<sup>納</sup>之積、去<sup>々</sup>亥<sup>年</sup>  
分如斯



一金三兩壹分永貳百六文

馬買代  
馬飼代 拝借返納

是者、東海道庄野宿馬飼代馬飼料拝借、享和二戌年私人手形高金拾七兩壹分  
永三拾文、亥々卯迄五ヶ年賦壹ヶ年金三兩壹分永貳百六文宛返納之積、去々  
亥年分如斯

一金百七拾兩壹分永百文

御取替金返納

是者、東海道土山外五ヶ宿中山道今須外壹ヶ宿助成金、増山備中守領分村々  
借請之分、去ル巳々申迄四ヶ年利金三千四百七兩相滯、宿方々難儀之段申立  
候ニ付、右滯利金備中守江之御取替金ニ而宿方江被下置候ニ付、私人手形を以請  
取之宿方夫々江相渡、酉々辰迄貳拾ヶ年賦同人方々返納之積、壹ヶ年金百七  
拾兩壹分永百文宛、去々亥年分如斯

一金五拾五兩壹分永壹文五分

元御広敷拝借返納

是者、勢州・濃州村々拝借罷在候元御広敷御貸附冥加金共返納、享和元酉年  
私一紙新入手形高金千四百六拾貳兩壹分永七拾九文四分之内、引請高金千  
貳百拾五兩貳分永三拾三文、去ル午々戌迄五ヶ年延亥々申迄貳拾貳ヶ年賦壹  
ヶ年金五拾五兩壹分永壹文五分宛返納之積、去々亥年分如斯

外

金五百貳拾九兩

水難拝借

是者、東海道庄野宿水難拝借、去々亥々申迄拾ヶ年延、酉々午迄拾ヶ年賦壹  
ヶ年金五拾貳兩三分永百五拾文宛返納之積リ、

右御勘定元二組可仕上旨、柳生主膳正・久世丹後守・久保田佐渡守・佐橋

長門守・松平石見守・中川飛驒守・石川左近將監・小笠原和泉守・大林与  
兵衛・村垣左太夫・佐久間甚八・大久保内膳・肥田十郎兵衛・三橋藤右衛  
門・河尻甚五郎・鈴木門三郎・岡松八右衛門・沢次郎右衛門・金沢瀬兵  
衛・村垣左太夫・各務伝之丞・小出大助・坂野喜六郎・今村五右衛門・篠  
木源左衛門・田口五郎左衛門・松山惣右衛門・村田鉄太郎・加藤惣兵衛・  
岸彦十郎・関川庄右衛門・水野藤九郎・太田作兵衛・服部専藏・保田定  
市・男谷平藏・中川文三郎・芝与市右衛門置証文、道中方之儀者井上美濃  
守置証文有之

合 金千八百四拾六兩壹分永百五拾七文六分九厘壹毛

銀四貫貳百七拾七匁五分九厘六毛

右渡方

金四百拾五兩壹分永四拾文八分九厘壹毛

年賦返納

堀内 小膳  
小倉孫左衛門  
富安 九八郎  
鵜飼次兵衛

銀貳拾三匁七分六厘六毛

年賦返納

右 同人

金貳分永九拾八文

大津御藏詰出役  
手代御入用

内

永七文八分

手代<sup>老人</sup>木錢  
小もの<sup>老人</sup>

此錢五拾文

但 金壹兩<sup>二付</sup>  
錢六貫六百六拾四文替

是者、近江国去々亥御年貢米之内大津御藏詰為御用手代<sup>老人</sup>・小もの<sup>老人</sup>の<sup>老人</sup>去々亥十一月廿六日信楽出立、同日大津着、同十二月廿三日同所出立、同日信楽江歸着、往返二昼分手代<sup>老人</sup>一昼錢拾七文、小もの<sup>老人</sup>一昼八文宛相渡如斯

永貳百拾五文貳分

本馬<sup>老人</sup>正駄賃

此錢壹貫四百三拾三文

但右同直段

是者、信楽々大津迄往返延道貳拾里、山中難所故、<sup>老人</sup>里<sup>老人</sup>正<sup>二付</sup>錢六拾八文八分五厘<sup>三</sup>当如斯

金壹分永百貳拾五文

宿代

是者、前同斷<sup>二付</sup>、去々十一月廿六日々同十二月廿三日迄<sup>老人</sup>月半分、但<sup>老人</sup>ヶ月金<sup>老人</sup>分<sup>二積</sup>リ相渡如斯

銀壹貫二百七拾目四分三厘

五厘外駄賃

此錢百四拾貳貫七百五拾壹文

但 錢壹貫文<sup>二付</sup>  
銀九匁六分替

是者、近江国去々亥御年貢米之内、大津御藏詰米貳千貳百九拾六石六斗五升六合三夕之内、米千三百貳拾三石三斗三升九合<sup>五里</sup>内村々之分引之、殘米九百七拾三石三斗壹升七合三夕、五里外駄賃前々引付を以相渡如斯

金八百五拾三兩壹分永拾壹文六分 海上運賃

是者、内金拾三兩貳分永百八拾五文壹分者、濃州去々亥御年貢米之内御膳粉・

御廻初、私御代官所并最寄替<sup>二面</sup>、去子春戸采女正殿御預所江引渡候分共合粉貳百拾四石五斗之分、勢州桑名湊々江戸迄海上運賃、粉百石<sup>三付</sup>金五兩三分永五拾文之<sup>老人</sup>割増金六兩壹分永百三拾文宛、金八百三拾九兩貳分永七拾六文五分者、勢州・濃州去々亥御年貢米之内、右同斷<sup>二付</sup>引渡候分共合米壹万七百五拾八石八斗六升八合之内、貳百三拾壹石貳斗六升三合<sup>老人</sup>夕江戸買納之分引之、殘米壹万五百貳拾七石六斗四合九夕之分、勢州桑名四日市湊江戸迄米百石<sup>三付</sup>金七兩壹分<sup>二</sup>之<sup>老人</sup>割増金七兩三分永貳百貳拾五文宛、合金書面之通相渡如斯

金八拾兩貳分永三拾文四分

御普請御入用

是者、元御代官所濃州村々用悪水<sup>二</sup>以樋去々亥春御普請御入用金、江戸御金藏々請取之相渡如斯

金五拾八兩壹分永八拾九文三分

右同斷

是者、勢州濃州村々堤川除樋類、去々亥春御普請御入用金、江戸御金藏々請取之相渡如斯

銀貳貫五百七拾目

右同斷

是者、江州村々堤川除樋類、去々亥春御普請御手当銀江戸御金藏々請取之相渡如斯

金貳百九拾六兩貳分永三拾文壹分 御普請御入用

是者、濃州石津郡帆引新田<sup>二</sup>以樋、去々亥春御普請御入用金、江戸御金藏々請取之相渡如斯

金貳兩三分永百貳拾八文

右同断

是者、元御代官所濃州不破郡松尾村土橋修復御普請御入用金、江戸御金藏  
請取之相渡如斯

銀三百拾三匁四分

右同断

是者、右同断同国安八郡馬瀬村尾州領立会悪水落江浚去々亥春御普請御入用  
銀、江戸御金藏  
請取之相渡如斯

金貳拾七兩永四拾三文貳分

右同断

是者、勢州鈴鹿郡坂下宿往還、去々亥急破御普請御入用金、江戸御金藏  
請取之相渡如斯

金四兩壹分

右同断

是者、右同断往還土橋、去々亥急破御普請御入用金、江戸御金藏  
請取之相渡如斯

金貳拾九兩壹分永七拾貳文七分

右同断

是者、右同断刳板橋、去々亥急破御普請御入用金、江戸御金藏  
請取之相渡如斯

金七拾三兩三分永百拾三文五分

右同断

是者、同国三重郡村々土板橋、去々亥急破御普請御入用金、江戸御金藏  
請取之相渡如斯

金四兩貳分

類焼拝借

是者、東海道土山宿、去々亥春出火三付類焼拝借願出吟味伺之上、江戸御金

藏  
請取之貸渡、去子々午迄七ヶ年賦壹ヶ年金貳分永百四拾貳文九分、未年

者金貳分永百四拾貳文六分返納之積如斯

右御勘定元弘三可相立旨、柳生主膳正・中川飛騨守・石川左近將監・小笠  
原和泉守・鈴木門三郎・岡松八右衛門・沢次郎右衛門・金沢瀬兵衛・加藤  
惣兵衛・関川庄右衛門置証文、道中方之儀者井上美濃守置証文、其外柳生  
主膳正・中川飛騨守・石川左近將監・小笠原和泉守・河尻甚五郎・鈴木門  
三郎・岡松八右衛門・沢次郎右衛門・金沢瀬兵衛・村垣左太夫・加藤惣兵  
衛・岸彦十郎・関川庄右衛門証文有之

金千八百四拾六兩壹分永百五拾七文六分九厘壹毛

内 金四百拾五兩壹分永四拾文八分九厘壹毛 江戸御金藏納

渡合 金千四百三拾壹兩永百拾六文八分 諸渡方

銀四貫貳百七拾七匁五分九厘六毛

内 銀貳拾三匁七分六厘六毛 江戸御金藏納

銀四貫貳百五拾三匁八分三厘 諸渡方

右者、私御代官所、去々亥年江戸御金藏  
請取候金銀并諸返納金銀納方渡  
方御勘定仕上申候、以上

文化二丑年四月 多羅尾 四郎次郎印

御勘定所

如前書、御金藏  
請取候金銀弘方手形并年賦返納金銀納札を以、亥年御勘  
定仕上有之付遂吟味、為後日覺令判形遣之候、以上

丑十一月

男谷平蔵印  
 米倉四郎左衛門印  
 芝与市右衛門印  
 中川文三郎印  
 保田定市印  
 服部専蔵印  
 郡代役所御用三付無印形  
 西野嘉内  
 関川庄右衛門印  
 岸彦十郎印  
 加藤惣兵衛印  
 水野藤九郎印  
 坂野喜六郎印  
 松山惣右衛門印  
 羽田藤右衛門印  
 御用三無印形  
 村垣左太夫  
 金沢瀬兵衛印  
 岡松八右衛門印  
 河尻甚五郎印  
 松平兵庫頭印  
 小笠原和泉守印

多羅尾 四郎五郎殿

石川左近将監印  
 中川飛驒守印  
 柳生主膳正印

(筆写 大森優子)

〔十二〕文化十五年五月 当分上知当分御預所文化十三子年御勘定目録  
(豎帳)

(表紙)

当分上知当分御預所

文化十三

子年御勘定目録

多羅尾 鞆 負

文化十三

子年御勘定目録

一高九百石

近江国

此取米百七拾八石六斗九升六合式夕

高巻ツ九分六厘余

内米壹石四斗四升五合

見取之分厘附除之

米拾貳石貳斗六升貳合式夕

米 納

米百六拾六石四斗三升四合

石代銀納

此銀九貫八百七拾壹匁分七厘四毛

此取

米百貳拾七石九斗貳升三合式夕

四ヶ村石代銀納

此銀七貫六百七拾五匁九分四毛 但伊賀国上野町子十月上米平均直段米壹石三付銀六目四毛

米三拾八石五斗壹升八匁 壹ヶ村石同斷

此銀貳貫百九拾五匁貳分七厘 但直段三匁劣米壹石三付銀五拾七匁四毛

一米五石三斗壹升八合 口米石代銀納

此銀三百拾五匁貳分七厘九毛

此取

米四石四升四合 四ヶ村口米石代銀納

此銀貳百四拾貳匁六分五厘六毛 但伊賀国上野町子十月上米平均直段米壹石三付銀六拾目四毛

米壹石貳斗七升四合 壹ヶ村石同斷

此銀七拾貳匁六分貳厘三毛 但右直段三匁劣米壹石三付銀五拾七匁四毛

是者、近江国去々子本途見取米、合百七拾八石六斗九升六合式夕之内、壹石

四斗四升五合著見取之分、前々引付を以口米不掛、殘米百七拾七石貳斗五升

壹合式夕江相掛候分、但米壹石三付口米三升宛取立如斯

一銀壹貫三百六拾三匁壹分七厘 夫銀

是者、近江国高九百石之内、百七拾六石壹斗四升七合著荒地高、四拾貳石貳

斗六升七合著庄屋年寄役高之分私領引付を以夫銀不掛、殘高六百八拾壹石五

斗八升六合江掛候分、但高百石三付銀貳匁宛郷帳ニ組、去々子年分取立如斯

一銀五匁九分貳厘 茶役

是者、近江国甲賀郡多羅尾村々相納候分私領引付を以郷帳ニ組、去々子年分

取立如斯

右御勘定元二組可仕上旨、服部伊賀守・古川山城守・明樂八郎右衛門・岸彦十郎・勝桓兵衛・館野忠四郎・服部專藏・西野嘉内・矢田堀喜左衛門・守屋権之丞・村田幾三郎・輕部七藏・平岩右膳・石井源左衛門証文有之

右之寄

米百八拾四石壹升四合貳夕

内 米拾貳石貳斗六舛貳合貳夕 米 納

銀拾貫百八拾六匁四分五厘三毛石代銀納

此米百七拾壹石七斗五升貳合

銀壹貫三百六拾九匁九厘

小物成品々銀納

二口合銀拾壹貫五百五拾五匁五分四厘三毛

右渡方

銀拾壹貫五百五拾五匁五分四厘三毛

年賦返納

堀内小膳  
西井孫太  
西新太  
和田源助

米貳斗三合九夕

郷藏敷地代米

是者、近江国甲賀郡三ヶ村郷藏敷地代米、去々子年分相渡如斯

米壹石八斗

堰料米

是者、同国同郡四ヶ村堰料米、去々子年分相渡如斯

米壹石壹斗四升五合三夕

山中村掃除丁場  
人足賃米

是者、同国同郡五ヶ村掃除丁場人足賃米、去々子年分相渡如斯

米九石壹斗壹升三合

庄屋年寄給米

是者、同国同郡五ヶ村庄屋年寄給米、去々子年分相渡如斯

右御勘定弘可相立旨、柳生主膳正・中川飛驒守・小笠原和泉守・三橋藤右衛門・鈴木門三郎・岡松八右衛門・沢次郎右衛門・金沢瀬兵衛・村田鉄太郎・藤野茂右衛門・水野藤九郎・太田作兵衛証文有之

渡合 米拾貳石貳斗六升貳合貳夕

銀拾壹貫五百五拾五匁五分四厘三毛

江戸御金藏納

銀六百五拾九貫百四拾八匁五分八厘四毛

不納銀高

内

銀四百九拾三貫九百五拾九匁四厘四毛

安永三千年上納之分  
文化十酉迄

銀拾貫目五分

文化十一戌年上納之分

銀拾貫三百貳拾八匁五分四厘六毛

同十二亥年上納之分

銀拾壹貫五百五拾五匁五分四厘三毛

同十三子年上納之分

小以銀五百貳拾五貫八百四拾三匁六分三厘三毛

殘銀百三拾三貫三百四匁九分五厘壹毛

右者、私当分上知当分御預所近江国、去々子年御物成銀米納方渡方御勘定仕上申候、以上

文化十五寅年五月

多羅尾 鞆

負印

御勘定所

如前書、銀納札并米弘方手形を以子年御勘定仕上有之付遂吟味、為後日覺令判形遣之候、以上

寅十月

寺西重次郎<sup>印</sup>  
石井源左衛門<sup>印</sup>  
平岩右膳<sup>印</sup>  
煩  
輕部七藏  
村田幾三郎<sup>印</sup>  
井上三郎右衛門<sup>印</sup>  
守屋權之丞<sup>印</sup>  
中村長十郎<sup>印</sup>  
評定所御用付無印形  
秋月徳之進  
西野嘉内<sup>印</sup>  
米倉四郎左衛門<sup>印</sup>  
中川忠五郎<sup>印</sup>  
服部專藏<sup>印</sup>  
館野忠四郎<sup>印</sup>  
勝桓兵衛<sup>印</sup>  
明樂八郎右衛門<sup>印</sup>  
村垣淡路守<sup>印</sup>  
古川山城守<sup>印</sup>  
土屋紀伊守<sup>印</sup>

服部伊賀守<sup>印</sup>  
榊原主計頭<sup>印</sup>

多羅尾靱負殿

(筆写 遲澤奈緒美)

## 〔十二〕 文政三年四月 当分上知当分御預所文政元寅年御勘定目録

(縦帳)

(表紙)

当分上知当分御預所

文政元

寅年御勘定目録

多羅尾 鞆 負

文政元

寅年御勘定目録

一高九百石

近江国

此取米百七拾八石七斗四升六合式夕 高壺ツ九分七厘余

内米壺石四斗四升五合

見取之分厘附除之

内 米拾貳石貳斗六升貳合式夕 米 納

米百六拾六石四斗八升四合 石代銀納

此銀七貫三百七拾五匁五分五厘貳毛

此訳

米百貳拾七石九斗六升三合式夕 四ヶ村石代銀納

此銀五貫七百五拾七匁八分三厘貳毛

伊賀国上野町寅十月上米  
但平均直段米壺石三付  
銀四拾四匁九分九厘六毛

米三拾八石五斗貳升八夕

壺ヶ村右同断

此銀壹貫六百拾七匁七分貳厘

但右直段三三匁劣米壺石三付  
銀四拾壺匁九分九厘六毛

一米五石三斗壺升九合

口米石代銀納

此銀貳百三拾五匁五分九毛

此訳

米四石四升四合

四ヶ村口米石代銀納

此銀百八拾壺匁九分六厘四毛

伊賀国上野町寅十月上米  
但平均直段米壺石三付  
銀四拾四匁九分九厘六毛

米壺石貳斗七升五合

壺ヶ村右同断

此銀五拾三匁五分四厘五毛

但右直段三三匁劣米壺石三付  
銀四拾壺匁九分九厘六毛

是者、近江国去々寅本途見取米合百七拾八石七斗四升六合壺夕之内米壺石四

斗四升五合見取之分、前々引付を以口米不掛殘米百七拾七石三斗壺合式夕

江相掛候分、但米壺石三付口米三升宛取立如斯

一銀壹貫三百六拾三匁壺分七厘

夫 銀

是者、近江国高九百石之内百七拾六石壺斗四升七合者荒地高、四拾貳石貳斗

六升七合者庄屋年寄役高之分私領引付を以夫銀不懸、殘高六百八拾壺石五斗

八升六合江掛候分、但高壺石三付銀貳匁宛宛郷帳三組去々寅年分取立如斯

一銀五匁九分貳厘

茶 役

是者、近江国甲賀郡多羅尾村々相納候分私領引付を以郷帳三組、去々寅年分

取立如斯



右御勘定元二組可仕上旨、古川山城守・村垣淡路守・明樂八郎右衛門・勝桓兵衛・館野忠四郎・服部專藏・西野六右衛門・守屋權之丞・村田幾三郎・平岩右膳・石井源左衛門・大井勘左衛門・竹内平之丞証文有之

右之寄

米百八拾四石六升五合式夕

内 米拾貳石貳斗六升貳合式夕 米 納

銀七貫六百拾壹匁六厘壹毛 石代銀納

此米百拾壹石八斗三合

銀壹貫三百六拾九匁九厘

小物成品々銀納

二口合銀八貫九百八拾目壹分五厘壹毛

右渡方

銀八貫九百八拾目壹分五厘壹毛

堀内小膳  
西井孫太  
西新太  
和田源助

米貳斗三合九夕

郷藏敷地代米

是者、近江国甲賀郡三ヶ村郷藏敷地代米、去々寅年分相渡如斯

米壹石八斗

堰料米

是者、同国同郡四ヶ村堰料米、去々寅年分相渡如斯

米壹石壹斗四升五合三夕

山中村掃除丁場  
人足賃米

是者、同国同郡五ヶ村掃除丁場人足賃米、去々寅年分相渡如斯

米九石壹斗壹升三合

庄屋年寄給米

是者、同国同郡五ヶ村庄屋年寄給米、去々寅年分相渡如斯

右御勘定弘二可相立旨、柳生主膳正・中川飛騨守・小笠原和泉守・三橋藤右衛門・鈴木門三郎・岡松八右衛門・沢次郎右衛門・金沢瀬兵衛・村田鉄太郎・藤野茂右衛門・水野藤九郎・太田作兵衛証文有之

渡合 米拾貳石貳斗六升貳合式夕 諸 渡 方

銀八貫九百八拾目壹分五厘壹毛 江戸御金藏納

銀六百五拾九貫百四拾八匁五分八厘四毛 不納銀高

内

銀五百拾四貫貳百八拾八匁九厘

安永三年<sup>夕</sup>上納之分  
文化十二亥迄

銀拾壹貫五百五拾五匁五分四厘三毛

文化十三年上納之分

銀拾貫百六拾五匁七厘五毛

文化十四丑年上納之分

銀八貫九百八拾目壹分五厘壹毛

文政元寅年上納之分

小以銀五百四拾四貫九百八拾八匁八分五厘九毛

殘銀百拾四貫百五拾九匁七分貳厘五毛

右者、私当分上知当分御預所近江国、去々寅年御物成銀米納方渡方御勘定仕上申候、以上

文政三辰年四月

多羅尾 鞆

負印

御勘定所

如前書銀納札并米弘方手形を以寅年御勘定仕上有之付遂吟味、為後日覺令判形遣之候、以上

辰十月

村垣	石川	遠山	松浦	明楽	勝	館野	服部	中川	米倉	西野	秋月	中村	守屋	村田	平岩	石井	大井	高山	竹内
淡路	主水	左衛門尉	伊勢守	八郎右衛門	桓兵衛	忠四郎	専蔵	忠五郎	藤兵衛	六右衛門	勇之進	長十郎	権之丞	幾三郎	右膳	源左衛門	勘左衛門	弥十郎	平之丞
守印	正印	印	印	印	印	印	印	印	印	印		印	印	印	印	印	印	印	印

評定所御用三付無印形

多羅尾 鞞

負殿

(筆写 荒木 隆)

〔十三〕 文政四年四月 当分上知当分御預所文政二卯年御勘定目録  
(表紙)

(表紙)

当分上知当分御預所

文政二

卯年 御勘定目録

多羅尾 韮 負

文政二

卯年御勘定目録

一高九百石

近江国

此取米百七拾八石七斗四升六合式夕 高壺ツ九分七厘余

内米壺石四斗四升五合 見取之分厘附除之

米拾貳石貳斗六升貳合式夕 米 納

米百六拾六石四斗八升四合 石代銀納

此銀五貫七百八匁四厘八毛

此取

米百貳拾七石九斗六升三合式夕 四ヶ村石代銀納

此銀四貫四百七拾六匁壹分五厘三毛 但伊賀国上野町卯十月上米平均直段米壺石三付銀三拾四匁九分八厘

米三拾八石五斗貳升八夕 壺ヶ村右同斷

此銀壺貫貳百三拾壺匁八分九厘五毛 但右直段三三匁劣米壺石三付銀三拾壺匁九分八厘

一米五石三斗壺升九合 口米石代銀納

此銀百八拾貳匁貳分三厘四毛

此取

米四石四升四合 四ヶ村口米石代銀納

此銀百四拾壺匁四分五厘九毛 但伊賀国上野町卯十月上米平均直段米壺石三付銀三拾四匁九分八厘

米壺石貳斗七升五合 壺ヶ村右同斷

此銀四拾目七分七厘五毛 但右直段三匁米壺石三付銀三拾壺匁九分八厘

是者、近江国去々卯本途見取米合百七拾八石七斗四升六合式夕之内、米壺石四斗四升五合見取之分、前々引付を以口米不掛殘米百七拾七石三斗壹合式夕江相掛候分、但米壺石三付口米三升宛取立如斯

一銀壺貫三百六拾三匁壹分七厘 夫 銀

是者、近江国高九百石之内百七拾六石壺斗四升七合著荒地高、四拾貳石貳斗六升七合著庄屋年寄役高之分、私領引付を以夫銀不懸、殘高六百八拾壺石五斗八升六合江掛候分、但高壺石三付銀貳匁宛宛郷帳三組、去々卯年分取立如斯

一銀五匁九分貳厘 茶 役

是者、近江国甲賀郡多羅尾村々相納候分、私領引付を以郷帳三組、去々卯年分取立如斯

右御勘定元二組可仕上旨、村垣淡路守・遠山左衛門尉・明樂八郎右衛門・勝桓兵衛・館野忠四郎・服部專藏・西野六右衛門・守屋権之丞・村田幾三郎・平岩右膳・石井源左衛門・大井勘左衛門・竹内平之丞証文有之

右之寄

米百八拾四石六升五合式夕

内 米拾式石式斗六升式合式夕 米 納

銀五貫八百九拾目式分八厘式毛石代銀納

此米百七拾壹石八斗三合

銀壹貫三百六拾九匁九厘

小物成品々銀納

二口合銀七貫式百五拾九匁三分七厘式毛

右渡方

銀七貫式百五拾九匁三分七厘式毛

堀内小 西井孫太 西新太 馬場藤五郎

米式斗三合九夕

郷藏敷地代米

是者、近江国甲賀郡三ヶ村郷藏敷地代米、去々卯年分相渡如斯

米壹石八斗

堰料米

是者、同国同郡四ヶ村堰料米、去々卯年分相渡如斯

米壹石壹斗四升五合三夕

山中村掃除丁場人足賃米

是者、同国同郡五ヶ村掃除丁場人足賃米、去々卯年分相渡如斯

米九石壹斗壹升三合

庄屋年寄給米

是者、同国同郡五ヶ村庄屋年寄給米、去々卯年分相渡如斯

右御勘定弘二可相立旨、柳生主膳正・中川飛騨守・小笠原和泉守・三橋藤右衛門・鈴木門三郎・岡松八右衛門・沢次郎右衛門・金沢瀬兵衛・村田鉄太郎・藤野茂右衛門・水野藤九郎・太田作兵衛証文有之

渡合 米拾式石式斗六升式合式夕 諸 渡 方

銀七貫式百五拾九匁三分七厘式毛 江戸御金藏納

銀六百五拾九貫百四拾八匁五分八厘四毛 不納銀高

内

銀五百式拾五貫八百四拾三匁六分三厘三毛 安永三年上納之分

銀拾貫百六拾五匁七厘五毛 文化十三年上納之分

銀八貫九百八拾目壹分五厘壹毛 文政元寅年上納之分

銀七貫式百五拾九匁三分七厘式毛 文政二卯年上納之分

小以銀五百五拾式貫式百四拾八匁式分三厘壹毛

殘銀百六貫九百目三分五厘三毛

右者、私当分上知当分御預所近江国、去々卯年御物成銀米納方渡方御勘定仕上申候、以上

文政四巳年四月

多羅尾 鞠

負印

御勘定所

如前書銀納札并米払方手形を以卯年御勘定仕上有之付遂吟味、為後日覚令

判形遣之候、以上

巳十月

竹内平之丞印  
吉見儀助印  
高山弥十郎印  
大井勘左衛門印  
石井源左衛門印  
村田幾三郎印  
守屋權之丞印  
中村長十郎印  
西野六右衛門印  
米倉藤兵衛印  
中川忠五郎印  
評定御用ニ付無印形  
秋月勇之進印  
鈴木伝市郎印  
服部專藏印  
館野忠四郎印  
明樂八郎右衛門印  
松浦伊勢守印  
遠山左衛門尉印

石川主水正印  
村垣淡路守印

多羅尾 鞞 負殿

(筆写 門脇聖史)

## 〔十四〕 文政十年七月 文政四巳年御金蔵御勘定目録 (堅帳)

(表紙)

文政四  
巳年御金蔵御勘定目録

多羅尾 勒 負

## 文政

## 四巳年御金蔵御勘定目録

一金五千貳百三拾三兩三分永貳百四拾四文貳分

江戸御金蔵へ請取

銀壹貫八百三拾六匁三分七厘

一金拾八兩壹分永百五拾五文八分八厘四毛

夫食種粉代返納

外金三分永百九拾七文九分六厘

水損ニ付去ル巳卷々年延被仰付候分

是者、江・勢・濃州村々拝借返納残、寛政三亥年多羅尾四郎右衛門一紙新入

手形高金千百六拾貳兩三分永百六拾三文九分四厘貳毛、寛政二戌々卯迄三拾七  
拾々年賦之内引請高金七百拾四兩永五拾八文四分貳厘八毛、亥々卯迄貳拾九  
々年賦、卷々年金貳拾四兩貳分永百貳拾貳文七分四毛宛、未年者金貳拾四兩

貳分永百貳拾貳文七分壹厘六毛返納之積御座候処、水損等ニ而年延ニ相成候  
分者年賦を送返納之積、去ル巳年分取立如斯

一金壹兩永百九拾九文壹分壹厘壹毛

夫食種粉代拝借返納

是者、濃州卷々村拝借返納残、寛政三亥年竹腰小伝次御預所役人一紙新入手  
形高金貳百六拾兩三分永七拾六文九分八厘八毛、寛政二戌々卯迄三拾々年賦  
之内引請高金三拾四兩三分永貳拾四文貳分壹厘三毛、亥々卯迄貳拾九々年賦  
卷々年金壹兩永百九拾九文壹分壹厘壹毛宛、未年者金壹兩永百九拾九文壹分  
五毛返納之積御座候処、水損等ニ而年延ニ相成候分、年賦を送返納之積、去  
ル巳年分取立如斯

一金六兩三分永百五拾七文九分七厘五毛

夫食種粉麦代返納

是者、濃州村々拝借返納残、寛政四子年石原清左衛門一紙新入手形高金六百  
貳拾八兩貳分永貳百四文四分八厘四毛、寛政二戌々卯迄三拾々年賦之内引請  
高金百貳拾六兩三分永八拾貳文九分九厘、亥々寅迄拾六々年者卷々年金六兩  
三分永百五拾七文九分七厘五毛宛、卯年者金六兩三分永百五拾七文九分五厘  
六毛、辰年者酉・戌年延之分金六兩三分永百五拾七文九分七厘五毛、巳年者  
戌年延之分金貳兩壹分永貳百三拾九文四分五厘九毛返納之積御座候処、水  
損等ニ而年延ニ相成候分者年賦を送返納之積、去ル巳年分取立如斯

一金貳拾九兩永貳百四拾七文四分三厘貳毛

夫食種粉麦農具代返納

外金三兩貳分永三拾五文九厘壹毛 水損ニ付去ル巳卷々年延被仰付候分  
是者、濃州村々拝借返納残、寛政三亥年辻六郎左衛門一紙新入手形高金六千

三百兩壹分永百八拾貳文壹分五厘三毛、寛政二戌年卯迄三拾年賦之内引請  
高金六百五拾五兩三分永百拾壹文貳分三厘貳毛、亥年寅迄拾六ヶ年者壹ヶ年  
金三拾六兩壹分永六拾八文七分四厘壹毛ツ、卯年者金三拾六兩壹分永六拾  
八文六分九厘七毛、辰年者酉年延之分金三拾兩三分永貳拾壹文六分貳厘壹  
毛、巳年者戌年延之分金七兩貳分永百七拾壹文五厘八毛返納之積御座候処、  
水損等二而年延三相成候分、年賦を送り返納之積、去ル巳年分取立如斯

#### 一金百七拾兩壹分永百文

#### 御取替金返納

是者、東海道土山宿外五ヶ宿中山道今次外壹ヶ宿助成金、増山備中守領分  
村々借請之分、去ル巳年申迄四ヶ年利金三千四百七兩相滞宿方難洪之段申  
立候ニ付、右滞利金備中守江之御取替金ニ而宿方江被下置候ニ付、多羅尾四郎次  
郎手形を以請取之宿方江相渡、酉辰迄貳拾ヶ年賦、壹ヶ年金百七拾兩壹分  
永百文宛同人方返納之積御座候処、水損等二而年延三相成候分者年賦を送返  
納之積、去ル巳年返納皆済之分取立如斯

#### 一金拾壹兩貳分

#### 荒地起返拝借返納

是者、濃州村々拝借、文化三寅年多羅尾四郎次郎入手形高金百九拾五兩貳  
分、寅年午迄五ヶ年延、未年亥迄拾七ヶ年賦、壹ヶ年金拾壹兩貳分宛返納之  
積御座候処、水損等二而年延三相成候分者年賦を送り返納之積、去ル巳年分取立  
如斯

#### 一金拾壹兩貳分

#### 右同断

是者、右同断拝借、文化四卯年多羅尾四郎次郎入手形高金百九拾五兩貳分、

卯年未迄五ヶ年延、申年子迄拾七ヶ年賦、壹ヶ年金拾壹兩貳分宛返納之積御

座候処、水損等二而年延三相成候分者年賦を送り返納之積、去ル巳年分取立如斯

#### 一金拾壹兩三分永百六拾貳文

#### 右同断

是者、右同断拝借、文化五辰年多羅尾四郎次郎入手形高金貳百貳兩壹分永貳  
百四拾三文三分、辰年申迄五ヶ年延、酉年丑迄拾七ヶ年賦、壹ヶ年金拾壹兩  
三分永百六拾貳文宛、未年者金拾壹兩三分永百五拾壹文三分返納之積御座候  
処、水損等二而年延三相成候分者年賦を送返納之積、去ル巳年分取立如斯

#### 一金貳拾兩

#### 水難拝借返納

是者、中山道守山宿水難拝借、享和三亥年松平主計頭役人入手形を以金貳百  
兩拝借被仰付候処、年賦取立金利借貸附返納方之儀、同人方ニ而取締方行  
届兼候趣を以父四郎次郎勤役中右貸附方取扱被仰付、同亥年申迄拾ヶ年之間  
壹ヶ年金貳拾兩宛右宿方取立之、年割五分利借貸附、拾壹年目酉年午  
迄拾ヶ年賦、壹ヶ年金貳拾兩宛返納之積、去ル巳年分取立如斯

#### 一金三拾五兩永拾文

#### 夫食代拝借返納

外金四兩壹分永拾文

水損ニ付去ル巳年延被仰付候分

是者、濃州村々拝借、文化十二亥年私入手形高金貳百三拾壹兩三分永三拾  
文、子辰迄五ヶ年賦、壹ヶ年金四拾六兩壹分永百六文宛返納之積御座候処、  
水損等二而年延三相成候分者年賦を送り返納之積、去ル巳年分取立如斯

#### 一金貳拾貳兩貳分永百五拾文

#### 小屋縣代拝借返納

外金三兩貳分永貳百文

水損ニ付去ル巳年延被仰付候分

是者、勢州・濃州村々拝借、文化十三子年私人手形高金百五拾兩貳分、子々辰迄五ヶ年賦、壹ヶ年金三拾兩永百文宛返納之積御座候処、水損等<sup>二</sup>而年延<sup>三</sup>相成候分者年賦を送返納之積、去ル巳年分取立如斯

一金貳拾三兩壹分永百九拾三文六分貳厘 再夫食代拝借返納

外金貳兩壹分永拾九文壹分

右同断

是者、勢・濃州村々拝借文化十三子年私人手形高金百貳拾八兩貳分永六拾三文六分、丑々巳迄五ヶ年賦、壹ヶ年金貳拾五兩貳分永貳百拾貳文七分貳厘宛返納之積御座候処、水損等<sup>二</sup>而年延<sup>三</sup>相成候分者年賦を送り返納之積、去ル巳年分取立如斯

一金拾壹兩永百貳拾文三分六厘

農具代拝借返納

外金壹兩貳分永百拾九文八分

水損<sup>二</sup>付去ル巳<sup>レ</sup>壹ヶ年延被仰付候分

是者、勢州・濃州村々拝借、文化十三子年私人手形高金六拾三兩貳分永貳百文八分、丑々巳迄五ヶ年賦、壹ヶ年金拾貳兩貳分永貳百四拾文壹分六厘宛返納之積御座候処、水損等<sup>二</sup>而年延<sup>三</sup>相成候分者年賦を送り返納之積、去ル巳年分取立如斯

一金三拾兩壹分永五拾壹文壹分六厘

種粳麦代拝借返納

外金貳兩永九拾文五分八厘

右同断

是者、濃州村々拝借、文化十三子年私人手形高金百貳拾四兩貳分永八拾三文六分、三割利金三拾七兩壹分永百貳拾五文壹分、差加合金百六拾壹兩三分永貳百八文七分、丑々巳迄五ヶ年賦、壹ヶ年金三拾貳兩壹分永百四拾壹文七

分四厘宛返納之積御座候処、水損等<sup>二</sup>而年延<sup>三</sup>相成候分者年賦を送返納之積、去ル巳年分取立如斯

一金八兩貳分永九拾三文九分

夫食代拝借返納

外金壹兩貳分永貳百八文五分四厘

右同断

是者、濃州村々拝借、文化三辰年私人手形高金五拾壹兩貳分永拾貳文貳分、巳々西迄五ヶ年賦、壹ヶ年金拾兩壹分永五拾貳文四分四厘宛返納之積、去ル巳可取立分之内水損年延<sup>三</sup>相成候分者年賦を送返納之積、去ル巳年分取立如斯

一金拾壹兩永八拾七文五分

種粳麦代拝借返納

外金壹兩永百四拾貳文貳分

水損<sup>二</sup>付去ル巳<sup>レ</sup>壹ヶ年延被仰付候分

是者、濃州村々拝借、文政三辰年私人手形高金六拾壹兩永百四拾八文四分、巳々西迄五ヶ年賦、壹ヶ年金拾貳兩永貳百貳拾九文七分宛、未年者金拾貳兩永貳百貳拾九文六分返納之積、返納之積<sup>マ</sup>去ル巳可取立分之内水損年延<sup>三</sup>相成候分者年賦を送返納之積、去ル巳年分取立如斯

一金貳兩永貳百拾五文八分

農具代拝借返納

外金壹分永貳百四拾貳文四分

右同断

是者、濃州村々拝借、文政三辰年私人手形高金拾三兩貳分永四拾壹文、巳々西迄五ヶ年賦、壹ヶ年金貳兩貳分永貳百八文貳分宛返納之積、去ル巳可取立分之内水損年延<sup>三</sup>相成候分者年賦を送り返納之積、去ル巳年分取立如斯

一金壹兩三文永五拾文

小屋懸代拝借返納



## 外金壹分永百五拾文

右同断

是者、濃州村々拝借、文政三辰年私入手形高金拾壹兩、巳々西迄五ヶ年賦、壹ヶ年金貳兩永貳百文宛返納之積、去ル巳可取立分之内水損ニ付年延ニ相成候分者年賦を送返納之積、去ル巳年分取立如斯

外

## 金百五拾兩

本陣家作御手当  
拝借

是者、東海道四日市宿本陣太兵衛拝借、文政三辰年午迄三ヶ年延、未々辰迄拾ヶ年賦、壹ヶ年金拾五兩宛返納之積

## 金五拾貳兩三分永百五拾文

水難御手当拝借返納

是者、東海道庄野宿水難拝借、享和三亥年多羅尾四郎次郎入手形高金五百四拾六兩壹分永三拾文之内、金拾七兩壹分永三拾文者享和三亥年卯迄五ヶ年賦取立返納相済、金五百貳拾九兩者同亥年申迄拾ヶ年延、酉年午迄拾ヶ年賦壹ヶ年金五拾貳兩三分永百五拾文宛返納之積を以、右之内金四百貳拾三兩永貳百文者酉辰迄八ヶ年返納相済、殘金百五兩三分永五拾文、文政四未々西迄五ヶ年延、翌戌年亥迄三ヶ年延返納之積

## 金六拾六兩貳分永百六拾六文七分

相統御手当拝借返納

是者、東海道坂下宿石薬師宿困窮ニ付、相統為御手当文化三寅同四卯兩年拝借被仰付、同八未年多羅尾四郎次郎一紙入手形高金貳千三百兩之内、坂下宿拝借金千三百兩者文化五辰年卯迄拾ヶ年延、辰年戌迄七ヶ年賦返納之積、石薬師宿拝借金千兩者文化五辰年申迄五ヶ年延、酉年亥迄拾五ヶ年賦、壹ヶ年

金六拾六兩貳分永百六拾六文七分宛、未年者金六拾六兩貳分永百六拾文貳分返納之積を以、右之内金五百三拾三兩壹分永八拾三文六分、酉辰迄八ヶ年返納相済、殘金四百六拾六兩貳分永百六拾六文四分、文化四巳々西迄五ヶ年延、翌戌年々前書割合之通返納之積

## 金五拾六兩壹分永七拾八文五分七厘

相統并類焼拝借返納

是者、前同断拝借高之内、坂下宿金千六百八拾九兩三分永百七文壹分者、辰年申迄三拾ヶ年賦、壹ヶ年金五拾六兩壹分永七拾八文五分七厘宛返納之積を以、右之内金五拾六兩壹分永七拾八文五分七厘、辰年返納相済、殘金千六百三拾三兩貳分永貳拾八文五分三厘、文政四巳々西迄五ヶ年延、翌戌年々前書割合之通返納之積

## 金七百四拾三兩永八拾九文貳厘

御取替金返納

是者、増山備中守領分勢州村々借請候東海道桑名外五ヶ宿・中山道今須宿外壹ヶ宿助成金借ニ付、享和元酉年御取替金上納并宿助成金皆済迄、年々金千百兩宛備中守ニ請取候処、去ル亥年夏領分水損ニ付壹ヶ年延被仰付、右ニ付同年宿々江可相渡利金七百四拾三兩永八拾九文貳厘、御取替金を以宿方江被下候間、私手形を以江戸御金藏ニ請取之相渡、文化十二亥年巳迄七ヶ年延、午年戌迄五ヶ年賦、壹ヶ年金百七拾兩壹分永百文宛、未年者金六拾六兩貳分永百八拾九文貳厘返納之積

右御勘定元ニ組可仕上旨、柳生主膳正・久世丹後守・佐橋長門守・中川飛騨守・石川左近將監・小笠原伊勢守・榊原主計頭・服部伊賀守・大林与兵

衛・村垣左太夫・佐久間甚八・大久保内膳・川尻甚五郎・鈴木門三郎・岡松八右衛門・沢次郎右衛門・金沢瀬兵衛・村垣左太夫・松山惣右衛門・梶野平九郎・萩原弥五兵衛・篠山十兵衛・岸彦十郎・勝桓兵衛・米田嘉太夫・館野忠四郎・服部専蔵・小出大助・坂野喜六郎・今村五右衛門・篠木源左衛門・加藤惣兵衛・関川庄右衛門・西野嘉内・男谷平蔵・中川文三郎・芝与市右衛門・米倉四郎左衛門・矢田堀喜左衛門・守屋権之丞・村田幾三郎・輕部七蔵置証文其外道中方之儀者井上美濃守置証文有之

合 金五千六百六拾壹兩永式百三拾八文九分四厘貳毛

銀壹貫八百三拾六匁三分七厘

右渡方

金四百貳拾七兩永式百四拾四文七分四厘貳毛

年賦返納

堀内貞五郎膳  
中山貞兵衛  
鈴木正助  
黒沢正太夫  
西井孫太郎  
西新太郎  
馬場藤五郎

金壹分永式百貳拾貳文五分

大津御蔵詰出役  
手代御入用

内

永七文七分

手代老人  
小者老人 木錢

此錢五拾文

金壹兩貳付  
但錢六貫八百文替

是者、江州去ル已御年貢米、大津為御蔵詰手代老人・小者老人已十二月朔

日信楽陣屋出立、同日大津着、同月二十五日大津出立、同日信楽歸着、此往返式昼分木錢手代老人一昼拾七文、小者老人一昼錢八文宛相渡如斯

本馬老正駄賃

永式百拾四文八分

但右同直段

是者、右同断、信楽々大津迄往返延道貳拾里、山中難所三付、老里錢七拾文壹分三当如斯

金壹分

宿代

是者、右手代已十二月朔日々同月二十五日迄宿代、老々月分金壹分三之積如斯

金拾九兩壹分永壹文八分

無宿伊三郎  
入牢中御入用

此訊

金貳兩壹分永百貳拾壹文八分

此錢拾五貫四百拾六文

金壹兩貳付  
但銀六貫五百文替  
(錢)

内

錢五貫八百八拾七文

塩噌薪代

是者、東海道石薬師宿庄兵衛方三止宿罷在候江州甲賀郡大久保村喜十郎預置候宿方手当金四拾七兩貳分盜取候無宿伊三郎儀、去ル丑十月二十八日入牢申付置候處、去ル寅十一月二十日牢死仕、在牢中小を引日數三百七十七日、塩噌薪代一日錢拾五文宛相渡如斯

錢三貫六百三三文

灯油代

此油壹斗貳合九夕六才

但 壹升<sub>ニ</sub>付  
錢三百四拾八文

是者、右同斷同人儀、日數三百七十七日在牢中之内、寅正月三日夜迄相牢人有之<sub>ニ</sub>付右日數之分除之、同月四日夜<sub>々</sub>同十一月十九日夜迄三百十貳夜分、一夜油三夕三才迄相渡如斯

錢四百拾六文

鹿紙代

是者、右同斷日數三百七十七日分、鹿紙貳拾五帖此紙數五百枚、一日壹枚三分余<sub>ニ</sub>當、但壹帖<sub>ニ</sub>付錢拾六文宛之積相渡如斯

錢壹貫貳百文

右拾代

是者、同人秋仕着古拾壹<sub>ツ</sub>代相渡如斯

錢壹貫五百文

古綿入代

是者、同人冬仕着古綿入壹<sub>ツ</sub>相渡如斯

錢貳百文

人足賃

是者、同人儀牢死<sub>ニ</sub>付、死骸取捨人足貳人、但壹人<sub>ニ</sub>付錢百文宛相渡如斯

錢三百四拾八文

桶代

是者、右同斷死骸入仮埋いたし候桶壹<sub>ツ</sub>代之分

錢貳百拾六文

伊三郎木錢米代

是者、同人儀、私役所江召捕來候節、池鯉鮒宿<sub>々</sub>信樂迄道中三泊四昼分、内錢百貳拾九文<sub>者</sub>米貳升五合代、但壹泊五合・壹昼貳合五夕宛、錢八拾三文<sub>者</sub>木錢壹泊拾七文・壹昼八文宛相渡如斯

錢壹貫四百四拾八文

人足船賃錢之分

是者、内錢壹貫三百九拾文<sub>者</sub>右同斷、池鯉鮒宿<sub>々</sub>信樂迄道中為乗候宿駕籠人足賃貳人分、錢五拾四文<sub>者</sub>宮宿<sub>々</sub>桑名宿迄船賃錢相渡如斯

錢四百四拾九文

雇足輕木錢米代

是者、右同斷雇足輕老人、勢州四日市<sub>々</sub>池鯉鮒宿迄貳泊貳昼、同所<sub>々</sub>信樂迄三泊四昼、信樂<sub>々</sub>四日市迄差戻壹泊貳昼、都合六泊八昼分、内錢貳百七拾五文<sub>者</sub>米五升代、但一泊五合・一昼貳合五夕宛、錢百七拾文<sub>者</sub>木錢、但一泊拾七文・一昼八文宛相渡如斯

錢百三拾七文

抱足輕木錢

是者、右同斷<sub>ニ</sub>付、勢州四日市<sub>々</sub>池鯉鮒宿迄貳泊貳昼、同所<sub>々</sub>信樂迄三泊四昼、都合五泊六昼分、但一泊錢拾七文・一昼錢八文宛相渡如斯

金拾六兩三分永百三拾文

此銀壹貫拾貳匁八分

但 金壹兩<sub>ニ</sub>付  
銀六拾匁替

内

銀九百三拾六匁

牢番三人雇賃

是者、前同斷伊三郎儀、寅正月四日夜<sub>々</sub>同十一月二十日迄在牢中、日數三百十二日三百十二夜分、但番人昼壹人・夜貳人宛、飯料共壹人<sub>ニ</sub>付銀壹匁相渡如斯

銀七匁五分

細美帷子代

是者、同人夏仕着細美帷子壹<sub>ツ</sub>代相渡如斯

銀四拾五匁三分

薬代

是者、同人儀在牢中、病氣ニ付相用候煎薬百五拾匁帖、帖ニ付銀三分宛之積相渡如斯

銀八匁

筆墨紙臘燭代

是者、於私役所右一件之者呼出、吟味口書下并清書取調、并御下知之趣申渡候右日数二十日分、筆・墨・紙・臘燭代一日銀五分之處、去ル已三ヶ年之間御儉約ニ付銀四分宛相渡如斯

銀拾六匁

足輕老人雇賃

是者、右伊三郎儀、池鯉鮒宿・鳴海宿之間往還ニおゐて召捕、私役所江引連候節、道中附添足輕式人之内老人者抱足輕差出、老人者勢州四日市宿ニ而相雇、同所々池鯉鮒宿迄日数二日、同所々信楽迄日数四日、信楽々四日市迄差戻候日数〔兼備〕此日数合八日分、但一日老人雇賃銀式匁宛相渡如斯

金千貳拾三兩三分永五文三分

御普請御入用

是者、勢・濃州村々用水以樋土橋樋類堤川除其外、去ル已春御普請御入用金、江戸御金藏々請取之相渡如斯

銀三百目

御普請御手当

是者、江州蒲生郡村々堤川除、去ル已春御普請御手当銀、江戸御金藏々請取之相渡如斯

金三千五百三拾八兩三分永百七拾六文九分 国役御普請金

是者、土方大和守領分勢州村々国役御普請被仰付候間、御普請金私方ニ而請私仕候様被仰渡、右金江戸御金藏々請取之相渡如斯

銀四百六拾七匁老分四厘

国役御普請金  
為登賃金

是者、前書国役金請取之、度々江州信楽陣屋迄為差登候道中飛脚銀、金百兩ニ付銀拾三匁式分宛御金藏々請取之相渡如斯

銀老貫六拾九匁貳分三厘

五厘外駄賃

此錢百拾八貫八百三文

但 錢老貫文ニ付  
銀九匁

是者、江州村々去ル已御年貢米之内、大津御藏詰米分式千貳百七拾九石八斗四升五合八匁之内、千貳百七拾四石五斗六升七合老匁、五里内村々之分除之、殘米千五石貳斗七升八合七匁之五里外駄賃平均四里四分余、老里老石ニ付錢三拾貳文宛之處、去ル已々未迄三ヶ年御儉約中式割引、錢貳拾五文六分宛相渡如斯

金五百九拾貳兩老分永百貳文四分 海上運賃

是者、内金拾三兩老分永百七拾文八分者、去ル已御年貢米之内御膳粉式百拾六石、御廻粉拾七石、合式百三拾三石、勢州桑名湊々江戸迄海上上粉百石ニ付元運賃金五兩三分永五拾文之内、去ル已々三ヶ年之間減方被仰付永四拾文相減、金五兩三分永拾文、金五百七拾八兩三分永百八拾老文六分者、勢・濃州御廻米八千四拾八石九斗五升九合之内、太餅米八石貳斗四升三合江戸買納之分除之、殘米八千四拾石七斗老升六合、桑名湊々江戸迄海上米百石ニ付元運賃金七兩老分之内、去ル已々三ヶ年之間減方被仰付候ニ付永五拾文相減、

金七兩永式百文宛被下候分相渡如斯

金五拾九兩永式百三拾五文三分 右同断老割増

是者、内金老兩老分永九拾式文老分者、右同断、初式百三拾三石海上運賃、

初百石三付金五兩三分永拾文之老割金式分永七拾六文宛、金五拾七兩三分永

百四拾三文式分者、御廻米八千四拾石七斗老升六合、米百石三付金七兩永式

百文之老割金式分永式百式拾文宛被下候分相渡如斯

右御勘定元弘三可相立旨、村垣淡路守・遠山左衛門尉・明樂八郎右衛門・

勝桓兵衛・館野忠四郎・服部專藏・西野六右衛門・守屋權之丞・村田幾三

郎・平岩右膳・石井源左衛門・大井勘左衛門・竹内平之丞置証文有之、村

垣淡路守・遠山左衛門尉・明樂八郎右衛門・勝桓兵衛・館野忠四郎・服部

專藏・鈴木伝市郎・西野六右衛門・守屋權之丞・村田幾三郎・平岩右膳・

石井源左衛門・大井勘左衛門・竹内平之丞証文有之

金五千六百六拾老兩永式百三拾八文九分四厘式毛

渡合 内金四百式拾七兩永式百四拾四文七分四厘式毛 江戸御金藏納  
金五千式百三拾三兩三分永式百四拾四文式分 諸渡方

銀老貫八百三拾六匁三分七厘 諸渡方

右者、私御代官所、去ル巳年御金藏々請取候金銀、并諸返納金銀納方渡方

御勘定仕上申候、以上

文政十亥年七月

多羅尾 鞠

負印

御勘定所

如前書、御金藏々請取候金銀弘方手形、并年賦返納金納札を以、巳年御勘

定仕上有之三付遂吟味、為後日寛令判形遣之候、以上  
子七月

杉江 弥太郎印

中嶋 平四郎印

小山 太郎左衛門印

大嶋 九郎太郎印

評定所御用三付無印形

中野 又兵衛

吉見 儀助印

竹内 平之丞印

高山 弥十郎印

大井 帶刀印

石井 源左衛門印

米倉 藤兵衛印

中川 忠五郎印

守屋 權之丞印

中村 長十郎印

鈴木 伝市郎印

館野 忠四郎印

明樂 八郎右衛門印

曾我 豊後守印

遠山 左衛門尉印

多羅尾 鞠 負殿

石川 主水 正印  
村垣 淡路 守印

（筆写 石井好美）

## 〔十五〕 天保四年五月 天保三寅年御金藏御勘定帳（豎帳）

（表紙）

天保元

寅年御金藏御勘定帳

多羅尾 勒 負

天保元

寅年御金藏御勘定目録

一金式千三百五拾式両式分永式百拾壹文

江戸御金藏へ請取

銀壹貫七拾四匁式分九厘

一銀式拾目三分三厘

大坂御金藏へ請取

一金六両永式拾五文六分式厘六毛

夫食種粉代拝借返納

外金七両壹分永拾七文壹厘五毛

水損ニ付去ル寅年延被仰付候分

是者、江・勢・濃州村々拝借返納残、寛政三亥年多羅尾四郎右衛門一紙新入

手形高金千百六拾式両三分永百六拾三文九分四厘式毛、寛政二戌ノ卯迄三

拾ノ年賦之内引請高金七百拾四両永五拾八文四分式厘八毛、亥ノ卯迄式拾九

ケ年賦、壹ケ年金式拾四両式分永百式拾式文七分四毛□未年ハ金式拾四両式分永百式拾式文七分壹厘六毛返納之積御座候処、水損等ニ而年延相成候分者年賦を送リ返納之積、去ル寅年分取立如斯

一金拾五両

本陣家作御手当  
拝借返納

是者、東海道四日市宿本陣太兵衛拝借、文政二卯年私入手形高金百五拾両、辰ノ午迄三ケ年延、未ノ辰迄拾ケ年賦、壹ケ年金拾五両ツ、返納之積御座候処、困窮願ニ付年延被仰付候分年賦を送返納之積、去ル寅年分取立如斯

一金壹両

夫食代拝借返納

外金九両永式百拾文

水損ニ付去ル寅年延被仰付候分

是者、濃州村々拝借、文政十亥年私入手形高金五拾壹両永式百文、子ノ辰迄五ケ年賦、壹ケ年金拾両永式百四拾文ツ、返納之積御座候処、水損ニ而年延相成候分者年賦を送返納之積、去ル寅年分取立如斯

一金式分永八拾式文式分八厘

再夫食代拝借返納

外金五両壹分永百三拾式文式厘

右同断

是者、濃州村々拝借、文政十亥年私入手形高金式拾九両三分永六拾四文五分、子ノ辰迄五ケ年賦、壹ケ年金五両三分永式百拾式文五分ツ、返納之積御座候処、水損等ニ而年延相成候分者年賦を送返納之積、去ル寅年分取立如此

一金六両式分永百式拾四文

夫食代拝借返納

外金式拾六両三分永式拾式文

右同断

是者、濃州村々拝借、文政十二丑年私入手形高金百六拾六両三分永式百三拾

文、寅々午迄五ヶ年賦、壹ヶ年金三拾三兩壹分永百四拾六文ツ、返納之積御座候処、水損等ニ而年延相成候分者年賦を送返納之積、去ル寅年分取立如斯

## 一金壹兩三分永百貳拾五文

## 急夫食代拝借返納

是者、濃州祖父江村拝借、文政十二丑年私入手形高金九兩壹分永百貳拾五文、寅々午迄五ヶ年賦、壹ヶ年金壹兩三分永百貳拾五文ツ、返納之積、去ル寅年分取立如斯

## 一金壹兩永百文

## 再夫食代拝借返納

是者、濃州祖父江村拝借、文政十二丑年私入手形高金五兩貳分、寅々午迄五ヶ年賦、壹ヶ年金壹兩永百文ツ、返納之積、去ル寅年分取立如斯

## 一金壹兩永貳百文

## 小屋掛代拝借返納

是者、濃州祖父江村拝借、文政十二丑年私入手形高金六兩、寅々午迄五ヶ年賦、壹ヶ年金壹兩永貳百文ツ、返納之積、去ル寅年分取立如斯

## 外

## 金壹兩永百九拾九文壹分壹厘壹毛 夫食粉代拝借

是者、濃州壹ヶ村拝借返納残、寛政三亥年竹腰小伝次郎御預所、役人一紙新入手形高金貳百六拾兩三分永七拾六文九分八厘八毛、寛政二戌々卯迄三拾ヶ年賦之内引請高金三拾四兩三分永貳拾四文貳分壹厘三毛、亥々卯迄貳拾九ヶ年賦、壹ヶ年金壹兩永百九拾九文壹分壹厘壹毛ツ、未年者金壹兩永百九拾九文壹分五毛返納之積御座候処、水損等ニ而年延相成候分者年賦を送り返納之積、去ル寅年水損ニ付壹ヶ年延被仰付候分如斯

## 金貳拾三兩永百五拾四文七分七厘三毛

## 荒地起返拝借

是者、濃州村々荒地起返拝借、文政八酉年私入置手形高金三百四拾七兩壹分永七拾壹文五分九厘四毛、去ル申々戌迄拾五ヶ年賦、壹ヶ年金貳拾三兩永百五拾四文七分七厘三毛ツ、未年者金貳拾三兩永百五拾四文七分七厘貳毛返納之積御座候処、水損等ニ而年延相成候分者年賦を送り返納之積、去ル寅年水損ニ付壹ヶ年延被仰付候分如斯

## 金六拾六兩貳分永百六拾六文七分 相続御手当拝借

是者、東海道坂下宿・石葉師宿困窮ニ付、相続御手当文化三寅年・同四卯年兩年拝借被仰付、同八未年多羅尾四郎次郎一紙入手形高金貳千三百兩之内、坂下宿拝借金千三百兩者文化五辰々卯迄拾貳ヶ年延辰々戌迄七ヶ年賦返納之積、石葉師宿拝借金千兩者文化五辰々申迄五ヶ年延、西々亥迄拾五ヶ年賦、壹ヶ年金六拾六兩貳分永百六拾六文七分ツ、未年ハ金六拾六兩貳分永百六拾六文貳分返納之積を以、右之内金五百三拾三兩壹分永八拾三文六分、西々辰迄八ヶ年返納相済、殘金四百六拾六兩貳分永百六拾六文四分、文政四巳々西迄五ヶ年延、翌戌々前書割合之通返納之積御座候処、困窮ニ付戌々子迄三ヶ年延被仰付、翌丑々年賦を送り返納可仕処、困窮ニ付猶又丑・寅々年延被仰付候分如斯

## 金五拾六兩壹分永七拾八文五分七厘 相続并類焼拝借

是者、前同断拝借高之内、坂下宿金千六百八拾九兩三分永百七文壹分ハ、辰々西迄三拾ヶ年賦壹ヶ年金五拾六兩壹分永七拾八文五分七厘ツ、返納之積を



以、右之内金五拾六兩壹分永七拾八文五分七厘辰年返納相済、殘金千六百三拾三兩貳分永貳拾八文五分三厘、文政四巳巳酉迄五ヶ年延、翌戌年々前書割合之通返納之積御座候処、困窮ニ付戌子迄三ヶ年延被仰付、翌丑年々年賦を送返納可仕処、困窮ニ付猶又丑・寅式ヶ年延被仰付候分如斯

#### 金五拾貳兩三分永百五拾文

水難御手当拝借

是者、東海道庄野宿水難拝借、享和三亥年多羅尾四郎次郎入手形高金五百四拾六兩壹分永三拾文之内、金拾七兩壹分永三拾文者享和三亥卯迄五ヶ年取立返納相済、金五百貳拾九兩者同亥申迄拾ヶ年延、酉午迄拾ヶ年賦壹ヶ年金五拾貳兩三分永百五拾文ツ、返納之積を以、右之内金四百貳拾三兩永貳百文者酉辰迄八ヶ年返納相済、殘金百五兩三分永五拾文文政四巳巳酉迄五ヶ年延、翌戌亥迄貳ヶ年ニ返納之積御座候処、困窮ニ付去ル戌子迄三ヶ年延被仰付、翌丑年賦を送り返納可仕処、困窮ニ付猶又丑・寅式ヶ年延被仰付候分如斯

#### 金貳兩貳分永七拾壹文九分四厘

夫食代拝借

是者、濃州村々拝借、文政三辰年私入手形高金五拾壹兩貳分永拾貳文貳分、巳酉迄五ヶ年賦、壹ヶ年金拾兩壹分永五拾貳文四分四厘ツ、返納之積御座候処、水損等ニ而年延相成候分者年賦を送返納之積、去ル寅年水損ニ付壹ヶ年延被仰付候分如斯

#### 金壹兩永百文

小屋掛代拝借

是者、濃州村々拝借、文政三辰年私入手形高金拾壹兩、巳酉迄五ヶ年賦、

壹ヶ年金貳兩永貳百文ツ、返納之積御座候処、水損ニ而年延相成候分者年賦を送返納之積、去ル寅年水損ニ付壹ヶ年延被仰付候分如斯

#### 金三兩壹分永八拾四文三分

種初麦代拝借

是者、濃州村々拝借、文政三辰年私入手形高金六拾壹兩永百四拾八文四分、巳酉迄五ヶ年賦、壹ヶ年金拾貳兩永貳百貳拾九文七分ツ、未年金拾貳兩永貳百貳拾九文六分返納之積御座候処、水損等ニ而年延相成候分者年賦を送返納之積、去ル寅年水損ニ付壹ヶ年延被仰付候分如斯

#### 金壹分永貳百四拾貳文四分

農具代拝借

是者、濃州村々拝借、文政三辰年私入手形高金拾三兩貳分永四拾壹文、巳酉迄五ヶ年賦、壹ヶ年金貳兩貳分永貳百八文貳分ツ、返納之積御座候処、水損等ニ而年延相成候分者年賦を送返納之積、去ル寅年水損ニ付壹ヶ年延被仰付候分如斯

#### 金五兩貳分永貳百貳拾壹文八分

相統御手当拝借

是者、濃州村々拝借、文政五午年私入手形高金六拾貳兩、未亥迄五ヶ年賦、壹ヶ年金拾貳兩壹分永百五拾文ツ、返納之積御座候処、水損等ニ而年延相成候分者年賦を送り返納之積、去ル寅年水損ニ付壹ヶ年延被仰付候分如斯

#### 金三分永貳百拾六文

急夫食代拝借

是者、濃州村々拝借、文政八酉年私入手形高金四兩三分永八拾文、戌寅迄五ヶ年賦、壹ヶ年金三分永貳百拾六文ツ、返納之積御座候処、水損等ニ而年延相成分者年賦を送返納之積、去ル寅年水損ニ付壹ヶ年延被仰付候分如斯

## 金貳分永百四拾四文

## 再夫食代拝借

是者、濃州村々拝借、文政八酉年私入手形高金三兩永貳百貳拾文、戌寅迄五ヶ年賦、老ヶ年金貳分永百四拾四文ツ、返納之積御座候処、水損ニ而年延相成分者年賦を送り返納之積、去ル寅年水損ニ付老ヶ年延被仰付候分如斯

## 金三百兩

## 本陣脇本陣家作拝借

是者、東海道庄野宿本陣・脇本陣家居及大破家作御手当拝借願出吟味伺之上江戸御金蔵々請取之貸渡、申々子迄五ヶ年延、丑々戌迄拾ヶ年賦、老ヶ年金三拾兩ツ、返納之積御座候処、猶又丑々卯迄三ヶ年延被仰付、辰々丑迄拾ヶ年賦返納之積如斯

## 金五百兩

## 御手当拝借

是者、東海道土山宿外四ヶ宿助成金貸先滞候ニ付拝借被仰付、江戸御金蔵々請取之貸渡、文政六未年々助成御貸附滞利金取立次第返納之積如斯

## 金九拾四兩

## 御手当拝借

是者、東海道土山宿外四ヶ宿助成金貸先滞候ニ付拝借被仰付、江戸御金蔵々請取之貸渡、文政八酉年々御貸附滞利金取立次第返納之積如斯

## 金五百五拾兩

## 御取替拝借

是者、東海道坂下宿外式々宿助成金貸先滞ニ付拝借被仰付、江戸御金蔵々請取之貸渡、文政十一子年々御貸附滞利金取立次第返納之積如斯

## 金五百五拾兩

## 御取替拝借

是者、東海道坂下宿外式々宿助成金貸先滞ニ付拝借被仰付、江戸御金蔵々請

取之貸渡、文政十二丑年々貸附滞利金取立次第返納之積如斯

## 金五百五拾兩

## 御取替拝借

是者、東海道坂下宿外式々宿助成金貸先滞ニ付拝借被仰付、江戸御金蔵々請取之貸渡、天保元寅年々御貸附滞利金取立次第返納之積如斯

右御勘定元二組可仕上旨、柳生主膳正・中川飛騨守・久世丹後守・佐橋長門守・小笠原和泉守・石川左近將監・村垣淡路守・遠山左衛門尉・古川山城守・曾我豊後守・土方出雲守・明樂飛騨守・大林与兵衛・佐久間甚八・大久保内膳・鈴木門三郎・岡松八右衛門・沢次郎右衛門・金沢瀬兵衛・勝桓兵衛・館野忠四郎・服部専蔵・鈴木伝一郎・中村長十郎・柑本兵五郎・中川忠五郎・下田幸太夫・小出大助・坂野喜六郎・今村五右衛門・加藤惣兵衛・関川庄右衛門・西野六右衛門・守屋権之丞・村田幾三郎・平岩石膳・石井源左衛門・大井勘左衛門・竹内平之丞・吉見儀助・小山太郎左衛門・杉江弥太郎・中嶋平四郎・町田茂七郎・渡部三郎助置証文、其外道中方之儀者井上美濃守・岩瀬伊予守・佐野肥後守置証文有之

合 金貳千三百八拾六兩永百拾七文九分六毛  
銀壹貫九拾四匁六分貳厘

## 右渡方

金三拾三兩壹分永百五拾六文九分六毛

西馬場新太  
吉見村藤五郎  
山九郎右衛門郎

金貳兩貳分永百六拾六文貳分

二條御藏詰出役  
手代御入用

内

金壹兩壹分永百拾三文四分

手代老人 木錢  
小者老人

此殘九貫八拾六文

但 金壹兩ニ付  
錢六貫六百六拾四文

是者、近江国去ル寅御年貢米之内、二條御藏詰出役手代老人・小もの老

人、去々卯正月五日信樂陣屋出立、同日大津着、米改翌六日京都着、

同五月朔日同所出立、同日信樂帰着、此往返百十三泊百十四昼分、手

代老人一泊錢三拾五文・一昼錢拾七文、小もの老人一泊錢拾七文・一

昼錢八文ツ、相渡如斯

金壹分永五拾貳文八分

本馬老正駄賃

此殘貳貫拾八文

但右同直段

是者、右同断信樂々京都迄往還延道貳拾六里、山中難所ニ付老里錢七拾

四文五分余ニ相当如斯

金壹兩

宿 代

是者、右同断去々卯正月六日々五月朔日迄宿代四ヶ月分、但老ヶ月金壹

分ツ、之積相渡如斯

金三拾貳兩貳分永百四拾四文五分

無宿春吉・三次・乙五郎  
在牢中其外御入用

此訳

金八兩永貳百四拾七文貳分

此錢五拾四貫九百七拾八文

但 金壹兩ニ付  
錢六貫六百六拾四文

内

錢七貫五百七拾五文

塩増薪代

是者、無宿春吉長脇差を帶傳突いたし候一件ニ付右春吉召捕、去ル子五

月四日於江州信樂陣屋入牢申付吟味詰候、曾我豊後守江伺申去ル丑九月

十五日夜病死いたし、在牢中日数四百八十五日塩増薪代、但一日錢拾

五文ツ、相渡如斯

錢貳拾壹貫六拾文

右同断

是者、無宿三次・乙五郎長脇差を帶し博突いたし候一件ニ付右三次・乙

五郎召捕、去ル子五月廿三日於江州信樂陣屋入牢申付吟味仕候、曾我

豊後守江相伺候候、死罪被仰付候ニ付去ル寅閏三月十六日御仕置申渡、

在牢中日数六百七十四日、但一日老人錢拾五文ツ、相渡如斯

錢四貫五百拾五文

燈油代

此油壹斗貳升九合三才

但 油壹升ニ付  
錢三百四拾八文

是者、右同断去ル子五月四日夜々寅閏三月十五日夜迄、在牢中日数六百

九十二夜分之内、去ル丑六月十一日相牢人致出来候ニ付、去ル子五月四

日々丑六月十日迄日数三百九十一夜分、番所老ヶ所一夜油三夕三才

ツ、相渡如斯

錢五百三拾貳文

鹿紙代

是者、無宿春吉入牢中日数四百八十五日、此月数拾六ヶ月之積、鹿紙老

ヶ月式帖ツ、此鹿紙三拾貳帖、但老帖錢拾六文ツ、相渡如斯

## 錢壹貫四百六拾四文

右同断

是者、無宿三次・乙五郎入牢中日数六百七十四日此月数二十二ヶ月之積、鹿紙壹ヶ月式帖ツ、此鹿紙八拾八帖、但壹帖錢拾六文ツ、相渡如斯

## 錢七貫貳百文

古裕代

是者、無宿春吉・三次・乙五郎、去ル子・丑兩年秋仕着古裕六ツ代、但壹ツニ付錢壹貫貳百文ツ、相渡如斯

## 錢九貫文

古綿入代

是者、右同断冬仕着古綿入六ツ代、但壹ツニ付錢壹貫五百文ツ、相渡如斯

## 錢百八文

無宿春吉木錢代

是者、無宿春吉私役所江引連候節四日市宿々信樂迄道中一泊二昼分、一泊米五合・壹昼米貳合五タツ、合米壹升此代錢七拾壹文、木錢者一泊錢拾七文一昼錢八文ツ、相渡如斯

## 錢貳百拾六文

無宿三次・乙五郎右同断

是者、無宿三次・乙五郎右同断相渡如斯

## 錢八百六拾文

宿駕籠人足賃

是者、右同断無宿春吉四日市宿々信樂迄為乗候宿駕籠、壹挺人足賃相渡候分如斯

## 錢壹貫七百貳拾四文

右同断

是者、無宿三次・乙五郎右同断相渡如斯

## 錢三百文

手桶柄杓孤代

是者、無宿三次・乙五郎死罪之節相用候手桶壹ツ代錢百七拾貳文、柄杓壹本代錢貳拾四文、孤四枚代錢百文相渡如斯

## 錢百三拾六文

足輕式人木錢

是者、無宿春吉私役所江呼出候節附添足輕式人、去ル子五月朔日信樂出立、同二日四日市着、同三日同所出立、同四日信樂歸着往還二泊四昼分木錢、但壹人ニ付一泊錢拾七文一昼錢八文ツ、相渡如斯

## 錢貳百七拾貳文

足輕四人右同断

是者、無宿三次・乙五郎四日市々召連候附添足輕四人、去ル子五月廿日信樂出立、同廿一日四日市着、同廿二日同所出立、同廿三日信樂歸着往還二泊四昼分木錢、但壹人ニ付一泊錢拾七文一昼錢八文ツ、相渡如斯

## 金貳拾四兩永百四拾七文三分

此銀壹貫五百四拾目六分

但金壹兩ニ付銀六拾三匁八分

内

## 銀三百拾壹匁四分

藥代

是者、無宿春吉外式人在牢中病氣ニ而服藥之分、但壹帖銀三分宛之積相渡如斯

## 銀壹貫百七拾三匁

在牢中番之者  
三人雇賃

是者、春吉外式人、去ル子五月四日去ル寅閏三月十六日迄在牢中日數  
六百九拾三日六百九拾二夜分之内、丑六月十一日在牢人出来ニ付、子  
五月四日去ル丑六月十日迄日數三百九十一日三百九十一夜分、但番人昼  
老人夜式人ツ、但老人ニ付銀壹匁ツ、相渡如斯

## 銀四拾五匁

細美帷子代

是者、無宿春吉・三次・乙五郎、去ル子・丑兩年夏仕着細美帷子六ッ代、  
但壹ツニ付銀七匁五分ツ、相渡如斯

## 銀拾壹匁式分

筆墨紙蠟燭代

是者、無宿春吉・三次・乙五郎、於私役所一件之者共呼出吟味取調日  
數廿八日之内、廿六日者吟味口書并伺書取調、二日者三次・乙五郎御仕  
置申渡ニ付書類取調候分、筆・墨・紙・蠟燭代、但一日銀五分ツ、之  
處式割引銀四分宛之積如斯

## 金壹分

刀研代

是者、無宿三次・乙五郎死罪御仕置之節、首切刀壹腰研代相渡如斯

## 金百四拾八兩永式百三拾三文九分

濃州石津郡 万寿新田  
外御料七ヶ村 組合  
私領壹ヶ村

惡水吐以樋御普請御入用

## 金五兩式分永百九拾七文七分

右同断御扶持米代

## 此米五石壹升四合

但 金壹兩ニ付  
米八斗八升替

是者、濃州石津郡万寿新田外八ヶ村組合惡水吐以樋、去ル寅春御普請、去  
ル丑仕越御入用金江戸御金藏ニ請取之相渡如斯

## 金五百三拾兩三分永百五拾式文

御普請御入用

## 金式拾貳兩壹分永四拾九文六分

## 此米貳拾貳石貳斗九升九合六分

是者、勢州村々堰川除用水井堰樋類、去ル寅春御普請御入用金江戸御金藏  
ニ請取之相渡如斯

内

## 金三百三拾兩壹分永百拾五文八分

勢州度会郡 榎原村  
外三ヶ村  
堤川除御普請御入用

## 金四兩式分永百文四分

右同断御扶持米代

## 此米四石六斗四夕

但 金壹兩ニ付  
米壹石替

## 金四拾六兩三分永百三拾壹文六分

勢州三重郡 浜一色村  
外壹ヶ村  
用水井堰御普請御入用

## 金九拾五兩壹分永式百壹文四分

勢州三重郡 浜一色村  
外四ヶ村  
用惡水以樋御普請御入用

## 金五拾八兩永式百三文式分

勢州三重郡 浜一色村  
外六ヶ村  
堤川除御普請御入用

## 金拾七兩式分永百九拾九文式分

右同断御扶持米代

## 此米拾七石六斗九升九合式夕

但 金壹兩ニ付  
米壹石替

## 金三百五兩式分永式百四拾壹文壹分

御普請御入用

是者、濃州村々組合用惡水樋類、去ル寅春御普請御入用金江戸御金藏ニ請取

之相渡如斯

内

金五拾三兩壹分永百四拾文壹分

濃州石津郡帆引新田  
多芸郡祖父江村  
用惡水以樋御普請御入用

金貳百五拾貳兩壹分永百壹文

濃州石津郡万寿新田  
外御料七ヶ村  
私領壹ヶ村  
組合惡水吐樋御普請御入用

金百八拾兩

右同断

是者、東海道往還江州甲賀郡野上野村外式ヶ村立会松野尾川之儀、前々右三ヶ村三而川越人足差出越立出水無之節ハ、御料私領野上野村外式ヶ村申合仮橋掛渡往來通路仕候處、近年川瀬惡敷仮橋掛渡等も難相成、急水之節ハ時々仮橋流失いたし困窮之村方難儀およひ候ニ付、土橋御普請仕法附相願候處、永久為御手当金貳百兩御下金之積、右之内書面百八拾兩ハ土橋御普請為入用被下、殘金貳拾兩ハ永久相統方仕法相伺候處、御下知相濟書面金江戶御金藏々請取之相渡如斯

銀三拾貳匁

御普請御手当

是者、江州村々堤川除樋類、去ル寅春御普請御手当銀江戶御金藏々請取之相渡如斯

内

銀五匁

江州蒲生郡浄土寺村  
外私領式ヶ村  
組合堤川除御普請御手当

銀貳拾七匁

江州蒲生郡上南村

用水掛樋御普請御手当

銀九拾目

右同断

是者、和州式下郡坂手村用水閼梓、去ル寅春御普請御手当銀江戶御金藏々請取之相渡如斯

銀九百五拾貳匁貳分九厘

五里外駄賃

此錢百壹貫八百四拾七文

錢壹貫文ニ付  
但銀九匁三分五厘

是者、江州去ル寅御年貢米之内、二条御藏詰米貳千七石七斗貳升六合四夕之内、米五百六拾八石八斗三合五夕買納米七百拾八石三斗壹升四合五夕五里内村々之分除之、殘米七百貳拾石六斗八合四夕五里外駄賃平均四里四分余、米壹石ニ付元賃錢三拾貳文之處、貳割引錢貳拾五文六分ツ、相渡如斯

金壹兩三分永六拾六文

五里外小廻賃

是者、勢州度会郡小林村外八ヶ村、去ル寅御年貢之内江戶御廻米百三石壹斗八升三合四夕、同国有滝村々若松浦迄五里外海上八里之分、小廻賃永前々引付米壹石ニ付元賃永貳拾貳文之處、貳割引永拾七文六分ツ、相渡如斯

金五百貳拾兩貳分永百四拾五文五分 海上運賃

是者、内金八兩貳分永貳百貳拾九文者、濃州去ル寅御年貢米之内、御膳廻百四拾三石、御廻廻七石五斗、合廻百五拾石五斗、勢州桑名湊々江戶迄海上廻百石ニ付運賃金五兩三分永五拾文ツ、金五百拾壹兩三分永百六拾六文五分

ハ、勢・濃州御廻米七千九百九石七斗五升六合之内、米三拾九石九斗九升六合、太餅米八石七斗四升三合、江戸買納米之分除之、残米七千六拾石九斗七升七合、勢州桑名湊四日市浦々江戸迄海上米百石三付運賃金七兩七錢分ツ、之積相渡如斯

金五拾貳兩永六拾四文五分

右同断老割増

是者、内金三分永百貳拾貳文九分者右同断初百五拾石五斗海上運賃、初百石三付金五兩三分永五拾文之老割金貳分永八拾文ツ、金五拾老兩永百九拾老文六分ハ御廻米七千六拾石九斗七升七合、米百石三付金七兩七錢分之老割金貳分永百貳拾五文ツ、之積被下候分如斯

銀貳拾目三分三厘

米価引立御下戻銀

是者、江州野洲郡村々、文化十四年米価為引立銀六百七拾老匁差出銀被仰付、右銀天保元寅々来ル戊迄三拾三ヶ年三割合老ヶ年銀貳拾目三分三厘ツ、末年ハ銀貳拾目四分四厘御下戻之積、去ル寅年分大坂御金藏々請取之相渡如斯

金五百五拾兩

御取替拝借

是者、東海道坂下宿外式々補助成金貸先滞三付拝借被仰付、江戸御金藏々請取之貸渡、天保二卯年々御貸附滞利金取立次第返納之積如斯

右御勘定元払可相立旨、村垣淡路守・曾我豊後守・土方出雲守・明樂飛驒守・館野忠四郎・中村長十郎・守屋權之丞・柑本兵五郎・中川忠五郎・下田幸太夫・田口五郎左衛門・石井源左衛門・竹内平之丞・吉見儀助・小山

太郎左衛門・杉江弥太郎・五嶋三六郎・渡辺三郎助証文有之

金貳千三百八拾六兩永百拾七文九分六毛

渡合 内 金三拾三兩老分永百五拾六文九分六毛 江戸御金藏納  
金貳千三百五拾貳兩貳分永百貳拾老文 諸渡方

銀老貫九拾四匁六分貳厘

諸渡方

右者、私御代官所、去ル寅年御金藏々請取候金銀、并諸返納金納方渡方御勘定仕上申候、以上

天保四巳年五月

多羅尾 鞆 負印

御勘定所

如前書、御金藏々請取候金銀方手形并年賦返納金納札を以、寅年御勘定仕上有之付遂吟味、為後日覚令判形遣之候、以上

酉十二月

五嶋 三六郎印

関 保右衛門印

羽田 龍助印

無出座

竹尾 清右衛門

評定所御用三付無印形

豊田 藤之進

御用三付無印形

前原 八三郎

石原 孫助印

無出座

都築 金三郎

多羅尾 韋 負殿

無出座	明	矢	深	田	鳥	無出座	川	評定所御用ニ付無印形	村	村	中	石	無出座	無出座	渡
内	樂	部	谷	口	居	路	野	中	田	井	嶋	井	吉	見	辺
藤	飛	駿	遠	五	八	三	又	兵	幾	榮	平	源	見	儀	三
隼	驥	河	江	郎	右	左	兵	衛	三	之	四	左	助		郎
人	守	守	守	左	衛	衛			郎	進	郎	衛	助		助
正	印	印	印	衛	門	門			印	印	印	門			印

（筆写 松田律子）